

(案)

**藤沢市交通アクションプラン**  
＜都市・地域総合交通戦略，地域公共交通網形成計画＞  
**中間評価**

2021 年（令和 3 年）3 月



**藤 沢 市**



# 目 次

---

1	はじめに.....	1
2	藤沢市交通アクションプランとは.....	1
3	中間評価の実施方法.....	1
4	《ステップ1》交通に関する市民意識調査の実施.....	2
4.1	回答属性.....	2
4.2	外出の傾向.....	2
4.3	満足度.....	3
4.4	自由記述意見.....	5
5	《ステップ2》施策の進捗確認.....	6
5.1	短期施策.....	6
5.2	中期・長期施策の進捗状況.....	7
5.3	基本方針別の進捗状況.....	8
6	《ステップ3》評価指標の達成状況の確認.....	12
6.1	評価指標の達成状況.....	12
6.2	基本方針別の評価指標の状況.....	14
7	《ステップ4》中間評価とりまとめと今後の取り扱いについて.....	18
8	（参考）市民意識調査の実施概要.....	20
8.1	調査の目的.....	20
8.2	調査概要.....	20
8.3	調査期間.....	20
8.4	調査内容.....	20
9	（参考）市民意識調査の結果.....	27
9.1	調査規模.....	27
9.2	調査結果（単純集計）.....	29

## 1 はじめに

---

藤沢市交通アクションプラン（2015年（平成27年）3月策定）は、2020年（令和2年）3月で策定から5年を迎え、位置づけた施策の進捗を評価する時期となったことから、市民意識調査により市民ニーズの把握を行ったうえで、位置づけた施策の進捗状況や、評価指標の達成度について中間評価を実施しました。

## 2 藤沢市交通アクションプランとは

---

藤沢市交通アクションプラン（以下「アクションプラン」という。）は、藤沢市交通マスタープラン（2014年（平成26年）3月策定）に掲げる施策の実施計画として2015年（平成27年）3月に策定したものです。また、アクションプランは、交通事業とまちづくりが連携した総合的かつ戦略的な交通施策の推進を図ることを目的とした「都市・地域総合交通戦略」及び公共交通ネットワーク全体を一体的に形づくり、持続させることを目的とした「地域公共交通網形成計画」の2つの計画を兼ねています。

## 3 中間評価の実施方法

---

中間評価は、アクションプランで設定されている「施策の進捗状況」と、「評価指標」の現況値を確認するとともに、その達成状況を把握し評価を行いました。

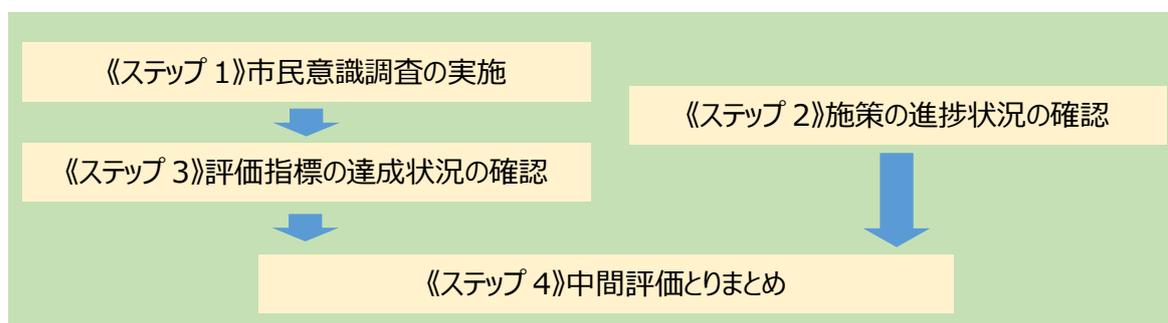


図1 中間評価の実施方法

## 4 《ステップ1》交通に関する市民意識調査の実施

2015年（平成27年）3月のアクションプラン策定以降の市内の交通に関する市民意識を把握するため、2020年（令和2年）1月から2月にかけて、15歳以上の藤沢市民3,550人を無作為抽出し、交通に関する市民意識調査を実施しました。調査を行ったことで判明した特徴的な点については次のとおりです。

### 4.1 回答属性

今回の調査では1,690名の方から回答をいただき、回収率は47.6%でした。回答属性を見ると性別では、アクションプラン策定当初の調査結果に比べて、女性からの回答割合が増加していました。

また、年齢別では統計値においても、高齢化が進んでいる状況がありますが、調査結果からは、アクションプラン策定当初に比べて70歳以上の割合が4.4%増加していました。

性別や年齢については、統計値に比べても、女性及び高齢者の回答が多い傾向があることから、経年による超高齢化の進展以上に高齢者の回答や女性の回答が多いことを考慮した上で、結果を見ていく必要があると思われます。

表1 回答属性の前回調査時との比較

		当初調査 (%)	今回調査 (%)	増 減 (%)	(参考) 統計値 (%)		
					H26.10	R1.10	増 減
性別	男性	43.5	41.5	-2.0	51.4	49.5	-1.9
	女性	56.5	58.5	+2.0	48.6	50.5	+1.9
年齢	30歳未満	7.6	10.3	+2.7	17.2	17.0	-0.2
	30-40歳台	32.0	28.5	-3.5	36.0	33.0	-3.0
	50-60歳台	36.5	32.8	-3.7	28.2	28.4	+0.2
	70歳以上	24.0	28.4	+4.4	18.6	21.6	+3.0

### 4.2 外出の傾向

日々の外出についての設問においては、外出の頻度や、したいと思う外出が制約されていないかをお聞きしたほか、制約されている場合の理由等を尋ねました。

その結果、外出の頻度としては、週1回以上外出している人は全体の約95%でしたが、年齢が80歳を超えると、外出の割合が週1回以上となる割合が減少するという結果でした。

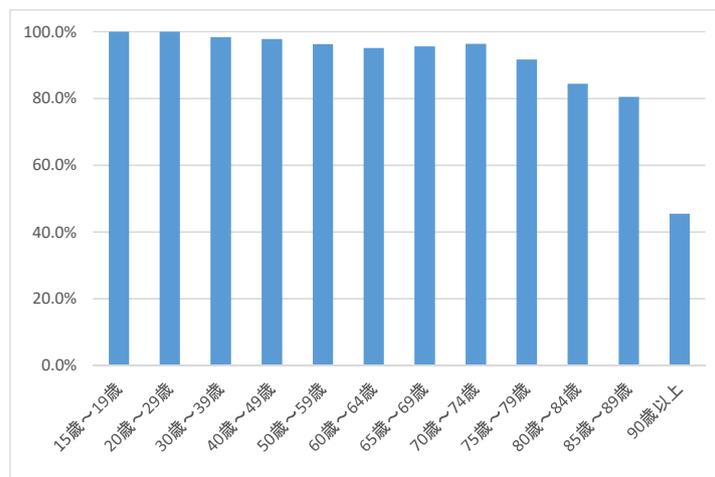


図 2 週 1 回以上外出すると答えた割合（年代別）

また、外出が制約されていると回答した方の理由としては「公共交通が利用しづらい」と回答した割合は、「身体的理由」、「時間がない」に次いで 3 番目（約 2 割）という状況で、特に「遠藤地区」、「御所見地区」では、その割合が 5 割を超える結果でした。

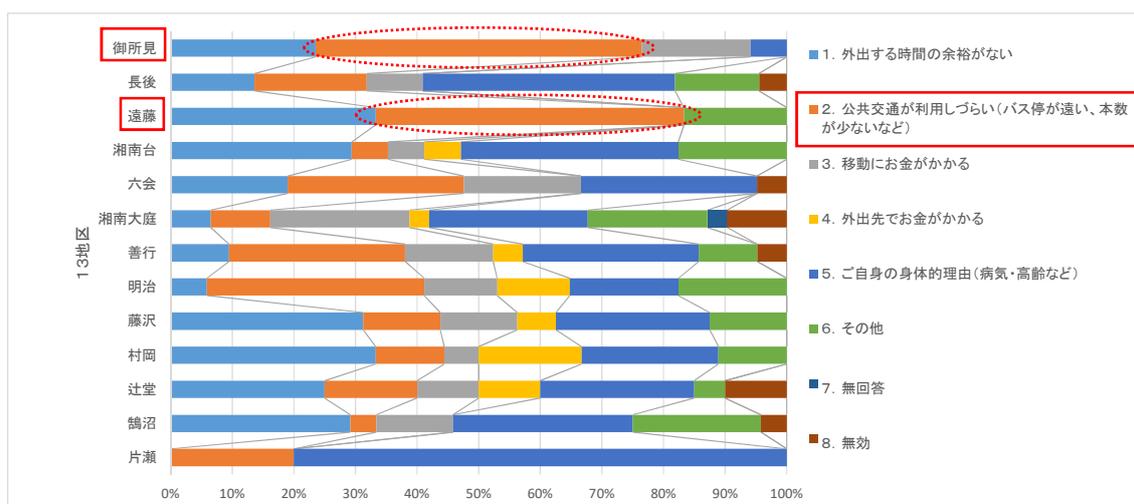


図 3 外出が制約されている理由（13 地区別）

### 4.3 満足度

交通に関する満足度の調査結果は、アクションプラン策定時（平成 26 年度）の市民意識調査と比較すると、「インターチェンジまでの所要時間に関する満足度」や「避難経路の道路環境に関する満足度」が上昇した一方で、「公共交通の利便性に関する満足度」が減少しました（表 2）。「公共交通の利便性に関する満足度」について、13 地区別にみても、「遠藤地区」、「村岡地区」の減少割合が約 20%と顕著となっています（図 4）。

表 2 満足度の策定時との比較

	H26 年度 策定時	今回調査	増 減
最寄り駅までの所要時間 に関する満足度	45%	46%	+1%
公共交通の利便性 に関する満足度	44%	36%	-8%
自動車走行環境 に関する満足度	17%	13%	-4%
インターチェンジまでの所要時間 に関する満足度	14%	34%	+20%
自転車走行環境 に関する満足度	10%	11%	+1%
市内の歩行環境 に関する満足度	25%	23%	-2%
避難経路の道路環境 に関する満足度	44%	54%	+10%

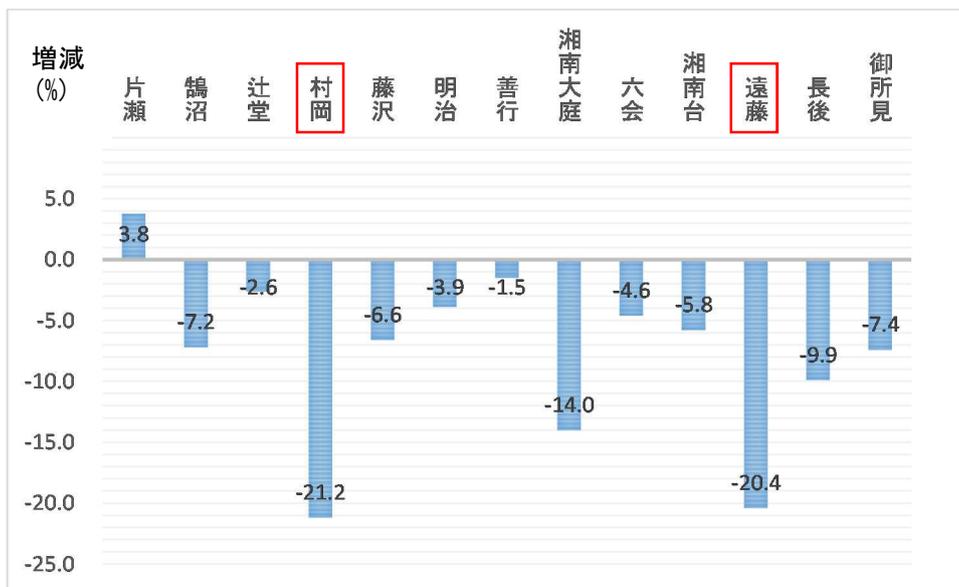


図 4 公共交通の利便性に関する満足度（前回調査からの増減・13 地区別）

## 4.4 自由記述意見

今回の市民意識調査における自由記述意見について類型化して整理を行ったものが表3です。最も多い意見は「渋滞」に関連した意見で、渋滞の箇所としては、「辻堂駅周辺」で特にショッピングモールに向かう渋滞解消を望む意見が多くありました。また、「バスの定時性」にも影響が出ているといった意見もあり、公共交通への利便性にも影響を与えていることがわかります。「藤沢駅周辺」の渋滞への意見も多く、「南藤沢」交差点で、鎌倉方面から流入する車両の混雑についての意見が多くみられました。

「渋滞」関連の意見の次に多かったのは、「自転車走行環境」に対する意見で、自転車利用者が自転車通行帯等の整備を望む声のほか、歩行者の安全性確保のために自転車走行環境の整備を望む声もありました。

3番目に多かったのは、「道路の安全対策」に関する意見で、通学路の安全確保や、道路が狭いことによる危険な状況の解消等の意見がありました。

表3 類型化した自由記述意見の件数（上位10位）

順位	類型化した意見の概要	件数	順位	類型化した意見の概要	件数
1	渋滞関係	163件	6	自転車駐車場の整備・改善	60件
2	自転車走行環境	118件	7	歩道の整備	53件
3	道路の安全対策	112件	8	取り締まりの強化	47件
4	バスの運行本数増	82件	8	道路のバリアフリー	47件
5	自転車利用者のマナー	67件	10	路面の凹凸	42件

## 5 《ステップ2》施策の進捗確認

### 5.1 短期施策の進捗状況

令和元年度までの短期で完了するとしていた施策の状況としては、21 施策中「完了」となったものが 14 施策（66.7%）、「順調※」となったものが 3 施策（14.3%）、「課題や遅れ有」とされたものが 4 施策（19.0%）でした。

そのうち、今後の方向性で「廃止」となったものが 1 施策（4.8%）でした。短期施策としては予定の期間内に完了できなかったものがあるものの、概ね計画通りに進捗を図ることができました。

表 4 短期施策の状況

評 価			今後の方向性		
	施策数	割合		施策数	割合
完了	14	66.7%	完了	14	66.7%
A（順調※）	3	14.3%	継続	6	28.6%
B（課題や遅れ有）	4	19.0%	廃止	1	4.8%
C（未実施）	0	0.0%			
合計	21		合計	21	

割合の合計は各項目の四捨五入を行っているため、必ず 100% となるわけではありません。

※短期施策における「順調」とは、アクションプランに位置づけた内容は実施したものの、短期の期間が終了した後も継続して実施していく施策に対して行っている評価のことです。

## 5.2 中期・長期施策の進捗状況

アクションプランに位置づけた中期・長期施策の進捗状況については、スケジュールを前倒しして「完了」した施策が2施策（4.3%）、予定通り順調に進捗している施策が24施策（52.2%）、実施はしているが課題や遅れがある施策が20施策（43.5%）となっています。

完了となった施策を除いて、今後も引き続き「継続」して事業に取り組みます。

表 5 中期・長期施策の進捗状況

評 価			今後の方向性		
	施策数	割 合		施策数	割 合
完 了	2	4.3%	完 了	2	4.3%
A（順調）	24	52.2%	継 続	44	95.7%
B（課題や遅れ有）	20	43.5%	廃 止	0	0.0%
C（未実施）	0	0.0%			
合 計	46		合 計	46	

## 5.3 基本方針別の進捗状況

アクションプランでは、将来の交通像『ひと・モノ・まちが、つながる都市～湘南ふじさわ～』を実現するため、4つの基本方針を設定するとともに、それぞれの基本方針に基づく交通施策を位置づけ、交通まちづくりを進めていくとしています。

この4つの基本方針ごとに位置づけた施策について進捗状況の確認を行いました。

### (1) 基本方針1 地域特性に応じた移動しやすい交通まちづくり

#### <交通施策>

- 1) 最寄り駅まで15分の交通体系づくり
- 2) 藤沢駅周辺（中心市街地）まで30分の交通体系づくり
- 3) 地域特性に応じた地域交通サービスの充実
- 4) 地域、交通事業者、関係機関、行政等の協力・連携

#### <主な施策のこれまでの成果>

- いずみ野線の延伸に向けて、2016年（平成28年）4月には交通政策審議会答申において「湘南台～倉見」が「検討すべき路線」に位置づけられるとともに、2017年（平成29年）5月には、市内の概ねの駅位置（A駅・B駅）が関係者間で合意に至る等、検討を進めてきました。
- 新たなまちづくりに向けては、第7回線引き見直しにおいて、B駅周辺の健康と文化の森地区が「新市街地ゾーン（計画的市街地整備の検討を進めていくゾーン）」に指定され、継続して地元との協議を進めてきました。
- 湘南大庭地区の公共交通の利便性向上を目的に、辻堂駅遠藤線への連節バスによる急行運転の導入、湘南ライフタウンバスターミナルの拡張整備による機能強化、石川方面へのバス路線の新設等を実施しました。
- 地域公共交通（乗合タクシー等）の導入として、2017年（平成29年）4月から善行地区に「のりあい善行」、2018年（平成30年）4月から六会地区に「おでかけ六会」の本格運行を開始しました。
- 交通拠点としての（仮称）村岡新駅の設置に向けては、鎌倉市深沢地区との一体的なまちづくりを行うとともに、新駅設置を目指す内容の基本事項に2018年（平成30年）12月に合意し、検討を進めてきました。

## (2) 基本方針 2 都市間の交流・連携や都市の活力を生み出す交通まちづくり

### <交通施策>

- 1) インターチェンジまで 30 分（産業系市街地から 15 分）の交通体系づくり
- 2) 広域的な公共交通ネットワークの強化
- 3) 都市拠点における交通機能の強化
- 4) 片瀬・江の島周辺における交通機能の強化

### <主な施策のこれまでの成果>

- 【いずみ野線延伸に関する取組は基本方針 1 と同様】
- 【（仮）新南北軸線に関する取組は基本方針 1 と同様】
- 道路のバリアフリー化については、六会日大前駅周辺地区における事業を平成 30 年度に完了し、善行駅周辺地区においては、平成 27 年度に「善行駅周辺地区移動円滑化基本構想」を策定し、平成 30 年度から事業を開始しました。
- 「ふじさわサイクルプラン」に位置づけた自転車ネットワーク路線について、「藤沢市自転車走行空間のあり方」に定めた整備形態に基づき、市道中学通り線、県道戸塚茅ヶ崎等の延長約 5.2 km に自転車通行帯を整備し、左側通行を促す矢羽根について、市道土棚石川線等に約 8.6 km の整備を実施しました。
- 藤沢駅北口及び長後駅西口周辺の有料駐輪施設の開設を行い、あわせて既存の無料駐輪施設を廃止しました。また、藤沢本町駅周辺の駐輪施設の有料化を検討し、令和 2 年度から着手しました。
- 自転車利用における交通ルールの遵守やマナーの向上に向け、交通安全教室、マナーアップ運動、広報による啓発等の取組を継続して進めました。
- さがみ縦貫道（圏央道）の開通による、広域的な公共ネットワークへのアクセス性が高まりました。
- 都市計画道路石川下土棚線の綾瀬市境付近を平成 29 年度に部分的に供用を開始しました。また、市道藤沢 652 号線（都市計画道路藤沢石川線）の本町工区では、国道 1 号下の伊勢山歩道トンネルの供用を開始しました。
- 藤沢駅北口駅前広場再整備及びデッキのリニューアルを完了しました。
- 湘南モノレール湘南江の島駅へのエレベーター設置が完了しました。
- 小田急江ノ島線片瀬江ノ島駅において、交通結節機能の強化のための駅前広場の整備及び駐輪施設の整備を行いました。

### (3) 基本方針3 環境にやさしい交通まちづくり

#### <交通施策>

- 1) 公共交通の利用促進
- 2) 自動車交通の円滑化
- 3) 自転車の利用促進
- 4) 環境にやさしい交通環境づくり

#### <主な施策のこれまでの成果>

- 公共交通の利用を促進するモビリティ・マネジメントを学校教育で行えるよう、教材・学習プログラムを作成し、実際に授業を実施しました。
- ノンステップバスやユニバーサルデザインタクシーの導入に対し、補助金制度を創設し、導入を促進しました。
- 【自転車利用環境の整備（はしる）に関する取組については基本方針2と同様】
- 【自転車利用環境の整備（とめる）に関する取組については基本方針2と同様】
- サイクル&バスライド施設を市内に3か所整備し、バス利用を促進しました。
- 湘南地域における電動自転車によるシェアサイクルの実証実験を開始しました。
- 【自転車利用環境の整備（まもる）に関する取組については基本方針2と同様】
- 【都市計画道路等の整備に関する取組については基本方針2と同様】

### (4) 基本方針4 ひとにやさしく・災害に強い交通まちづくり

#### <交通施策>

- 1) 安全で快適な移動空間づくり
- 2) 健康増進につながる移動環境づくり
- 3) 災害に強い交通まちづくり
- 4) 既存交通施設の適正な維持管理の推進

#### <主な施策のこれまでの成果>

- 【公共交通等の利用促進に関する取組については基本方針3と同様】

- 沿岸部橋梁の耐震化を進め、対象の9橋中7橋で改修が完了しました。また、緊急輸送路・避難路に関する橋梁の耐震化については、対象の52橋中、32橋で改修が完了しました。
- 【歩行環境の整備（駅周辺地域）に関する取組については基本方針2と同様】
- 危険箇所の点検、道路補修や舗装打換等については、日常的に必要なに応じて実施してきました。

アクションプランに定めた、4つの基本方針別に各施策の進捗状況を表6に整理しました。基本方針4では、比較的順調に進捗している施策もしくは完了している施策の割合が高く、基本方針1及び基本方針2では、課題や遅れが発生している割合が比較的高い状況が見られます。

**表 6 基本方針別の施策の進捗状況**

	完了	A	B	C	計
基本方針1：地域特性に応じた移動しやすい交通まちづくり	12 (36.4%)	9 (27.2%)	12 (36.4%)	0 (0.0%)	33 (100%)
基本方針2：都市間の交流・連携や都市の活力を生み出す交通まちづくり	13 (26.5%)	16 (32.7%)	20 (40.8%)	0 (0.0%)	49 (100%)
基本方針3：環境にやさしいまちづくり	1 (5.6%)	13 (72.2%)	4 (22.2%)	0 (0.0%)	18 (100%)
基本方針4：ひとにやさしく・災害に強い交通まちづくり	1 (9.1%)	9 (81.8%)	1 (9.1%)	0 (0.0%)	11 (100%)

評価の凡例	
完了	完了
A	概ね順調
B	遅れ・課題有
C	未実施

## 6 《ステップ3》評価指標の達成状況の確認

---

### 6.1 評価指標の達成状況

ステップ3では、アクションプランに位置づけた評価指標の現時点での達成状況の確認を行います。20項目の指標のうち、中間目標値（目標値の半分）に達している指標が8項目（40%）ある一方で、進捗はしたものの計画年次の中間目標値に満たない指標が9項目（45%）存在しています。

市民意識調査の満足度を指標としているものについては、策定時に比べてマイナスとなっている指標が3項目（15%）あります。

表 7 評価指標の進捗状況

	評価指標	① 策定時	② R1 年度末 現状値	③ R6 目標年次 目標値	④ 増減 ②-①	⑤ 進捗率 ④/(③-①)	達成度 「○」:⑤≥50% 「×」:⑤<0% 「△」:それ以外
評価指標 1	1-1 最寄り駅まで 15 分圏の人口割合	72 %	73 %	75 %	+1 %	33 %	△
	1-2 藤沢駅まで 30 分圏の人口割合	84 %	84 %	87 %	±0 %	0 %	△
	1-3 地域特性に応じた公共交通サービスの導入エリア数	-	2 エリア	6 エリア	+2 エリア	33 %	△
	1-4 最寄り駅までの所要時間に関する満足度	45 %	46 %	60 %	+1 %	7 %	△
	1-5 公共交通の利便性に関する満足度	44 %	36 %	60 %	-8 %	-50 %	×
評価指標 2	2-1 インターチェンジまで 30 分圏の人口割合	33 %	100 %	100 %	+67 %	100 %	○
	2-2 インターチェンジまで 15 分圏の産業系市街地割合の増加	2 %	27 %	80 %	+25 %	32 %	△
	2-3 自動車走行環境に関する満足度	17 %	13 %	60 %	-4 %	-9 %	×
	2-4 インターチェンジまでの所要時間に関する満足度	14 %	34 %	60 %	+20 %	43 %	△
評価指標 3	3-1 鉄道・バス・自転車の利用割合	43 %	57 %	43 %以上	+14 %	-	○
	3-2 自動車の利用割合	30 %	26 %	30 %以下	-4 %	-	○
	3-3 自転車走行空間の整備延長	0.5 km	13.9 km	5.0 km	+13.4 km	298 %	○
	3-4 自転車走行環境に関する満足度	10 %	11 %	60 %	+1 %	2 %	△
評価指標 4	4-1 鉄道駅のバリアフリー施設の整備率	94 %	100 %	100 %	+6 %	100 %	○
	4-2 ノンステップバスの導入率	20 %	62 %	70 %	+42 %	84 %	○
	4-3 緊急輸送道路（避難路）に架かる橋梁の耐震補強整備率	58 %	62 %	100 %	+4 %	10 %	△
	4-4 都市計画道路の整備率	75 %	77 %	83 %	+2 %	25 %	△
	4-5 ユニバーサルデザインタクシーの導入台数	1 %	7 %	6 %	+6 %	120 %	○
	4-6 市内の歩行環境に関する満足度	25 %	23 %	60 %	-2 %	-6 %	×
	4-7 避難経路の道路環境に関する満足度	44 %	54 %	60 %	+10 %	63 %	○

## 6.2 基本方針別の評価指標の状況

基本方針別の評価指標の状況と、各指標の増減に影響を与えた要因について、次のとおり整理を行いました。

### (1) 基本方針1 地域特性に応じた移動しやすい交通まちづくり

#### <評価指標の増減及び増減の要因>

##### ● 最寄り駅まで15分圏の人口割合の増加（72%→73%）

ほぼ横ばいの状況ですが、割合増加の要因は辻堂駅遠藤線へのバス急行運転開始及び石川方面への新規バス路線の設定による、最寄り駅までの15分圏域の拡大を要因とするものです。

##### ● 地域特性に応じた公共交通サービスの導入エリア数の増加（0エリア→2エリア）

「のりあい善行」、「おでかけ六会」の運行開始を要因とするものです。

##### ● 最寄り駅までの所要時間に関する満足度の向上（45%→46%）

取組内容からは辻堂駅遠藤線へのバス急行運転開始や乗合タクシーの導入等が影響すると考えられますが、満足度は横ばいという結果でした。

##### ● 公共交通の利便性に関する満足度の向上（44%→36%）

年齢層別の満足度を見ると、計画策定時においては、年齢層が高くなるにつれて満足度が上昇する傾向がありましたが、今回調査においては、その傾向が逆となっており、満足度が減少した要因の一つとして、実施している施策が、高齢者の満足度に直結していない可能性が考えられます。そのほか、市民意識調査の結果のとおり、特定の地区における公共交通の利便性低下が要因と考えられます。

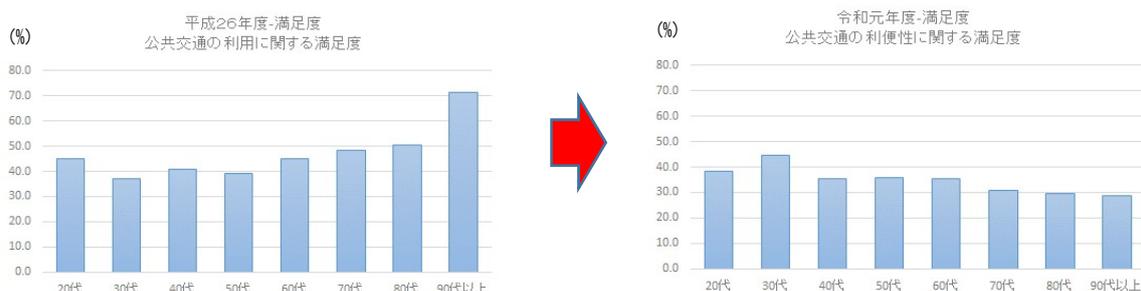


図5 公共交通の利便性に関する満足度の変化（平成26年度→令和元年度）

(2) 基本方針2 都市間の交流・連携や都市の活力を生み出す交通まちづくり  
 <評価指標の増減及び増減の要因>

- IC（藤沢・寒川北・綾瀬・栄）まで30分圏の人口割合の増加（33%→100%）

さがみ縦貫道（圏央道）の開通により、藤沢ICから30分圏の人口を算入したことが増加の要因です。

- IC（藤沢・寒川北・綾瀬・栄）まで15分圏の産業系市街地割合の増加（2%→27%）

さがみ縦貫道（圏央道）の開通により、藤沢ICから15分圏の産業系市街地面積を算入したことが増加の要因です。

- 自動車走行環境に関する満足度の向上（30%→26%）

都市計画道路の整備や市道の整備等の進捗を図ってきたにもかかわらず、満足度が減少した要因の一つとしては、市民意識調査の結果の中で、年齢層別の満足度を見たときに、高齢者層の満足度が減少していることから、高齢者の満足度に直結していない可能性が考えられます。また、同調査の自由記述意見の中で、渋滞解消を望む声が多くあったことも少なからず、本評価項目に影響を与えている可能性があります。

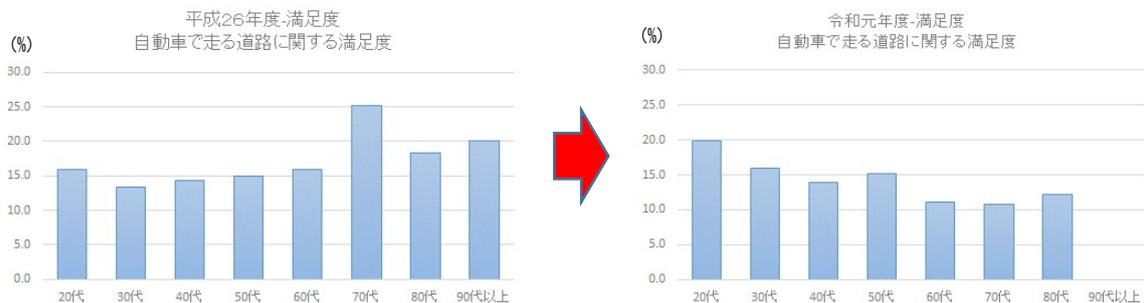


図6 自動車で走る道路に関する満足度の変化（平成26年度→令和元年度）

- インターチェンジまでの所要時間に関する満足度の向上（14%→34%）

さがみ縦貫道（圏央道）に藤沢ICからアクセス可能となったことが、満足度向上の要因の一つとして考えられます。

### (3) 基本方針3 環境にやさしい交通まちづくり

#### <評価指標の増減及び増減の要因>

##### ● 鉄道・バス・自転車の利用の促進 (43%→57%)

公共交通利用の意識が浸透したことも要因の一つとして考えられますが、一方で、超高齢化の進展、若者の車離れが進んだこと等、社会状況の変化も一因となっている可能性も考えられます。

##### ● 自動車の利用割合の改善 (30%→26%)

公共交通利用の意識が浸透したことも要因の一つとして考えられますが、一方で、超高齢化の進展、若者の車離れが進んだこと等、社会状況の変化が一因となっている可能性も考えられます。

##### ● 自転車走行空間の整備延長の増加 (0.5km→13.9km)

市道中学通り線、市道鵜沼海岸線等への自転車通行帯の整備や、その他の道路への矢羽根の設置による走行位置の明示を行った実績による増加です。

##### ● 自転車走行環境に関する満足度の向上 (10%→11%)

自転車走行空間の整備延長は大きく増加したものの、全体として満足度は横ばいにとどまっています。市民意識調査の結果から、年齢層別の満足度を見てみると、若い年齢層の満足度は増加していますが、比較的高い年齢層の満足度は上がっていないがわかり、このことから、実施している施策が、比較的高い年齢層の方の満足度に直結していない可能性が考えられます。

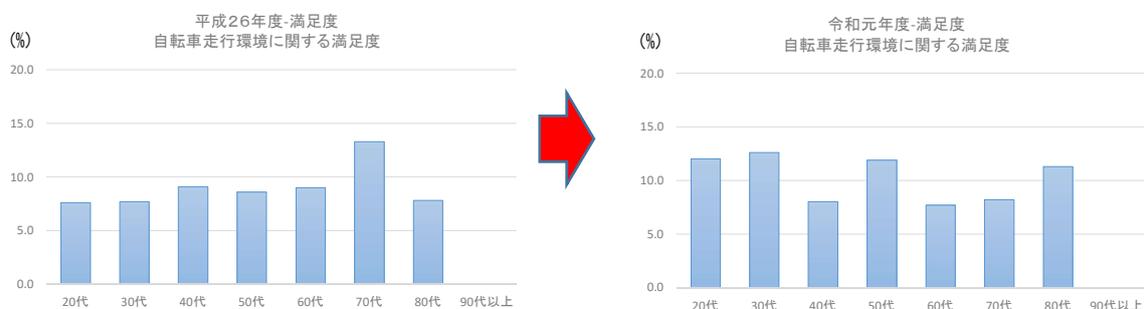


図7 自転車走行環境に関する満足度の変化 (平成26年度→令和元年度)

#### (4) 基本方針4 ひとにやさしく・災害に強いまちづくり

##### <評価指標の増減及び増減の要因>

- 鉄道駅のバリアフリー施設の整備率の増加（移動等円滑化の促進に関する基本方針に基づく）（94%→100%）

湘南モノレール湘南江の島駅へのエレベーター設置によるもので、移動等円滑化の促進に関する基本方針に基づくバリアフリー化が完了しました。

- ノンステップバスの導入率の増加（20%→62%）

平成26年度からの導入促進に向けた市の補助金や国からの補助金を受け、バス事業者がノンステップバスを導入した実績によるものです。

- 緊急輸送道路（避難路）に架かる橋りょうの耐震補強整備率の増加（58%→62%）

西浜橋、山本橋、日の出橋等の耐震補強を完了した実績によるものです。

- 都市計画道路の整備率の増加（75%→77%）

横浜伊勢原線の完了、石川下土棚線の一部供用開始及び柄沢特定土地地区画整理事業の完了等による実績によるものです。

- UD（ユニバーサルデザイン）タクシーの導入台数の増加（1%→7%）

令和元年度からの導入促進に向けた市の補助金や国からの補助金を受け、タクシー事業者等がUDタクシーを導入した実績によるものです。

- 市内の歩行環境に関する満足度の向上（25%→23%）

歩道整備やバリアフリー化等を進めてきたものの、市民意識調査の結果を年齢層別に見たときに、高齢者層の満足度が減少しており、実施している施策が、高齢者の方の満足度に直結していない可能性が考えられます。

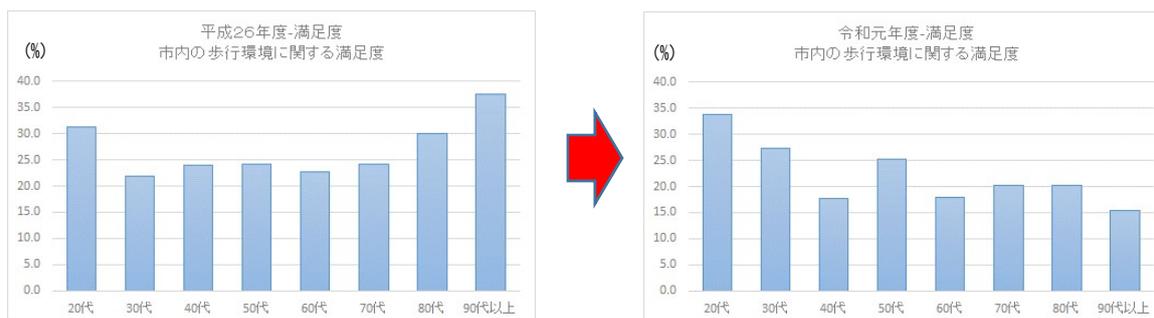


図8 市内の歩行環境に関する満足度の変化（平成26年度→令和元年度）

- 避難経路の道路環境に関する満足度の向上（44%→54%）

避難路や緊急輸送路の耐震化の進捗等によるほか、平成23年の東日本大震災以降、防災の意識が高まっていることも一つの要因と考えられます。

## 7 《ステップ4》中間評価とりまとめと今後の取り扱いについて

《ステップ3》までの結果を受けて、中間評価として、次のとおりとりまとめました。

- 計画に位置づけた短期施策は、概ね予定通り進捗しました。
- 計画に位置づけた中期・長期施策については、一部に課題や遅れが見られるものの、未実施の施策はありませんでした。
- 20項目ある評価指標のうち、中間目標値を達成した評価項目が8項目ある一方で、その他12項目は、中間目標値に達していませんでした。
- 特に、市民の満足度を指標とした項目では、施策が進捗したにも関わらず策定当初からマイナスとなった項目もあったことから、超高齢化の進展等の社会状況の変化が、市民の価値観に変化をもたらしている可能性があり、位置づけている一部の施策と市民の満足度の間に乖離が生まれている可能性があります。
- 一方で、超高齢化の進行により市民の年齢構成が変化してきていることから、満足度調査の結果にも偏りが生じ、経年変化の単純比較ができなくなっている可能性があります。

このアクションプランの中間評価の結果を受けて、今後はより市民のニーズに対応するための計画とすべく、計画策定時に比べて、社会状況の変化が生じているものにとらえ、最新の市内の交通動態の分析等を実施し、現況の課題を把握した上で、アクションプランの上位計画で交通に関する基本計画である「藤沢市交通マスタープラン（平成26年策定）」の改定も含めて、アクションプラン改定を検討していくこととします。なお、改定までの間は、現計画の施策を上位計画と連動して継続していきます。

計画改定については、専門家のご意見を伺いながら、次の視点を考慮して検討していきます。

### ① 最新の市内の交通動態と将来予測の把握

平成30年の東京都市圏のパーソントリップ調査の結果から、最新の市内の交通動態及び将来予測の分析を行い、その結果を踏まえた改定をする必要があります。

## ② 超高齢社会の進行及び人口減少社会の到来

アクションプランの策定時にも、少子高齢化の進行や人口減少を想定していましたが、策定以降の超高齢社会の進展状況を踏まえるとともに、迫りくる人口減少社会を踏まえた改定を検討する必要があります。

## ③ 新しい生活様式による交通行動の変化

新型コロナウイルス感染症流行の影響により、市民が新しい生活様式を取り入れることで、交通行動が変化する可能性が高まっています。コロナ禍が終息した状況については、交通行動の調査を実施した上で、改定を検討する必要があります。

## ④ 新しい技術や概念

自動運転等の新たな技術の発展や、交通手段間をシームレスにつなぐ仕組みであるMaaS（Mobility as a Service）といった新たな移動の概念が具現化していく中、本市の交通施策に有効なものは取り込んで改定を検討する必要があります。

## ⑤ 国や他都市の動向

国の法改正の動きや、他都市の取組状況を注視し、改定を検討する必要があります。

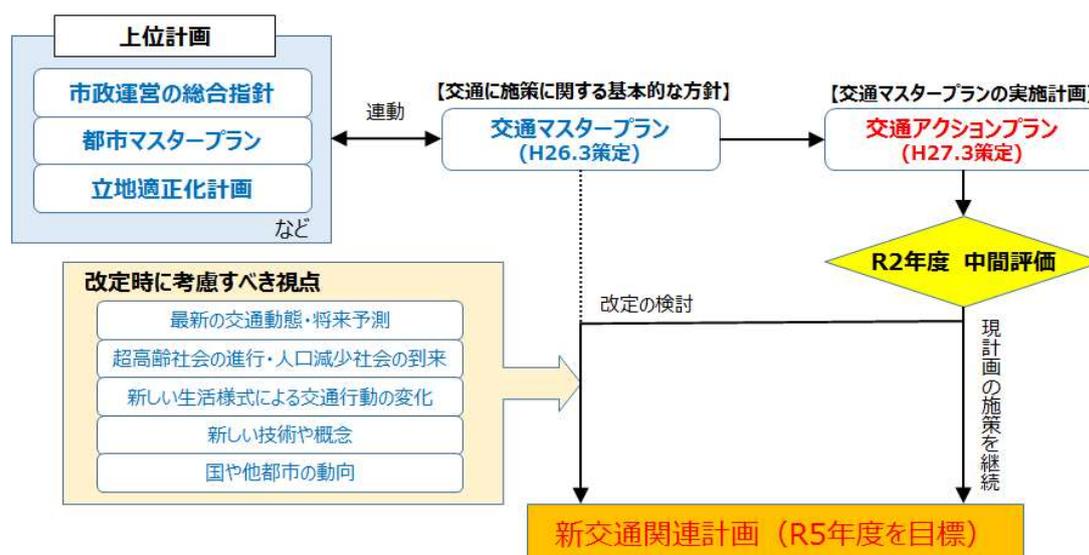


図 9 改定までのフロー

改定にあたっては、学識経験者、交通事業者の意見も踏まえながら、市民意識調査、説明会、パブリックコメント等で市民の意見を取り入れながら改定を行っていきます。

## 8 (参考) 市民意識調査の実施概要

---

### 8.1 調査の目的

交通に関する市民意識の経年変化を調査するために実施する。

### 8.2 調査概要

対 象： 15歳以上の藤沢市民（市内の公共交通を使う年代）

設定標本数： 1,065通（信頼水準95%、標本誤差3%）

→標本誤差3%の中に真の値がある確率が95%

想定回収率： 30%

配 布 数： 3,550通

標本抽出法： 単純無作為抽出

回 収： 1,690通（設定標本数の158%）

回 収 率： 47.6%

### 8.3 調査期間

本調査は以下の期間で実施した。

2020年（令和元年）1月24日（金）～2月7日（金）

### 8.4 調査内容

調査票のとおり。



**問9** 問8で答えたバス停まで、最もよく利用する主な交通手段は何ですか。1つマークしてください。

1. 徒歩のみ <input type="radio"/>	2. 自転車 <input type="radio"/>	3. バイク・原付 <input type="radio"/>	4. 鉄道 <input type="radio"/>	5. 自動車（自ら運転） <input type="radio"/>	6. 自動車（送迎） <input type="radio"/>
7. その他 ( <input type="text"/> ) <input type="radio"/>					

**問10** 問9で選んだ手段を利用する場合、自宅からバス停までの所要時間は何分ですか。おおよその時間（分）を記入してください。また、その所要時間に満足していますか。1つマークしてください。

所要時間	おおよそ	<input type="text"/>	分		
1. 満足 <input type="radio"/>	2. やや満足 <input type="radio"/>	3. 普通 <input type="radio"/>	4. やや不満 <input type="radio"/>	5. 不満 <input type="radio"/>	6. わからない <input type="radio"/>

**Ⅲ. タクシーの利用についてお聞きします。**

**問11** タクシーをどの程度利用しますか。1つマークしてください。

1. 週5日以上 <input type="radio"/>	2. 週3～4日 <input type="radio"/>	3. 週1～2日 <input type="radio"/>	4. 月1～3日 <input type="radio"/>	5. 年に数日 <input type="radio"/>	6. 利用しない <input type="radio"/>
-----------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	----------------------------------	-----------------------------------

**問12** タクシーを利用するのはどのようなときですか。あてはまるものすべてにマークしてください。（複数回答）

1. 手荷物が多 いとき <input type="radio"/>	2. 早く目的地に到 着したいとき <input type="radio"/>	3. 天候が悪いと き <input type="radio"/>	4. 公共交通が運行 していないとき <input type="radio"/>	5. 公共交通の待ち 時間が長いとき <input type="radio"/>	6. 飲酒したとき <input type="radio"/>
7. 同乗者と運賃を 分担できるとき <input type="radio"/>	8. 個人的な問題で利 用せざるを得ない <input type="radio"/>	9. 利用しない <input type="radio"/>	10. その他 ( <input type="text"/> ) <input type="radio"/>		

問12

**Ⅳ. 自動車（じどうしゃ）の利用についてお聞きします。**

**問13** 自動車（同乗を含む）をどの程度利用しますか。1つマークしてください。

1. 週5日以上 <input type="radio"/>	2. 週3～4日 <input type="radio"/>	3. 週1～2日 <input type="radio"/>	4. 月1～3日 <input type="radio"/>	5. 年に数日 <input type="radio"/>	6. 利用しない <input type="radio"/>
-----------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	----------------------------------	-----------------------------------

**問14** 自動車を利用して外出する際、最も多い目的は何ですか。1つマークしてください。

1. 通勤 <input type="radio"/>	2. 通学 <input type="radio"/>	3. 買い物 <input type="radio"/>	4. 食事・社交・娯楽 <input type="radio"/>	5. 観光・行楽・スポーツ <input type="radio"/>	6. 通院 <input type="radio"/>
7. その他の私用 <input type="radio"/>	8. 仕事・業務（通勤は別） <input type="radio"/>	9. その他 <input type="radio"/>			

問14

**問15** 自宅から自動車で高速道路等（例：東名、新東名、圏央道、新湘南バイパス、横浜新道、西湘バイパス、首都高ほか）を利用する際、最初に入る、よく利用するインターチェンジはどこですか。インターチェンジ名を記入してください。

<input type="text"/>	インターチェンジ	<input type="radio"/>	わからない・特定できない
(例： <input type="text"/> 東名 → 「厚木」、「横浜町田」等 <input type="text"/> 新東名 → 「厚木南」等 <input type="text"/> 圏央道 → 「寒川北」、「海老名」等 <input type="text"/> 新湘南バイパス → 「藤沢」等 <input type="text"/> 横浜新道 → 「戸塚料金所（インターチェンジ扱いとします）」等 <input type="text"/> 西湘バイパス → 「大磯東」等 <input type="text"/> 首都高 → 「狩場」等)			

問15

**問16** 問15で選んだインターチェンジまでの所要時間は何分ですか。おおよその時間(分)を記入してください。また、その所要時間に満足していますか。1つマークしてください。

所要時間	おおよそ	<input type="text"/>	分			
1. 満足	2. やや満足	3. 普通	4. やや不満	5. 不満	6. わからない	
<input type="radio"/>						

**V. 自転車(じてんしゃ)の利用についてお聞きします。**

**問17** 自転車をどの程度利用しますか。1つマークしてください。

1. 週5日以上	2. 週3~4日	3. 週1~2日	4. 月1~3日	5. 年に数日	6. 利用しない
<input type="radio"/>					

**問18** 自宅から自転車で外出する際、最も多い目的は何ですか。1つマークしてください。

1. 通勤	2. 通学	3. 買い物	4. 食事・社交・娯楽	5. 観光・行楽・スポーツ	6. 通院
<input type="radio"/>					
7. その他の私用	8. 仕事・業務(通勤は別)	9. その他			
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			

問19

**VI. 徒歩での外出についてお聞きします。**

**問19** 自宅から徒歩だけで外出する頻度はどの程度ですか。1つマークしてください。

1. 週5日以上	2. 週3~4日	3. 週1~2日	4. 月1~3日	5. 年に数日	6. ない
<input type="radio"/>					

**問20** 自宅から徒歩だけで外出する際、最も多い目的は何ですか。1つマークしてください。

1. 通勤	2. 通学	3. 買い物	4. 食事・社交・娯楽	5. 観光・行楽・スポーツ	6. 通院
<input type="radio"/>					
7. その他の私用	8. 仕事・業務(通勤は別)	9. その他			
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			

問21

**VII. 市内の交通についての評価をお聞きします。**

**問21** 市内の交通の利用について、各項目の満足度を1つマークしてください。

(1) 市内の公共交通(電車・バス・タクシーなど)の利用について						
1. 満足	2. やや満足	3. 普通	4. やや不満	5. 不満	6. わからない	
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(2) 歩道の歩きやすさについて						
1. 満足	2. やや満足	3. 普通	4. やや不満	5. 不満	6. わからない	
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(3) 自転車(じてんしゃ)の走りやすさについて						
1. 満足	2. やや満足	3. 普通	4. やや不満	5. 不満	6. わからない	
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(4) 自転車の駐輪施設(駐輪場など)の場所や設備について						
1. 満足	2. やや満足	3. 普通	4. やや不満	5. 不満	6. わからない	
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(5) 自動車(じどうしゃ)で走る道路について						
1. 満足	2. やや満足	3. 普通	4. やや不満	5. 不満	6. わからない	
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(6) 災害時の避難経路の道路環境について						
1. 満足	2. やや満足	3. 普通	4. やや不満	5. 不満	6. わからない	
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

問22 市内の公共交通について、改善されたら今より公共交通（電車・路線バス・タクシーなど）を利用すると思うところはどこですか。鉄道・路線バス・タクシー・その他のそれぞれについて、あてはまるもの**すべてに**マークしてください。（複数回答）

鉄道	1. 車内の混雑が減る <input type="radio"/>	2. 運行本数が増える <input type="radio"/>	3. 始発が早くなる <input type="radio"/>	4. 終発が遅くなる <input type="radio"/>
	5. 運行情報がわかりやすくなる <input type="radio"/>	6. 駅にホームドアが整備され安全性が高まる <input type="radio"/>	7. 運賃が安くなる <input type="radio"/>	8. わからない乗らない <input type="radio"/>
	9.今のままでよい改善されても利用頻度は変わらない <input type="radio"/>			
路線バス	1. 車内の混雑が減る <input type="radio"/>	2. 運行本数が増える <input type="radio"/>	3. 始発が早くなる <input type="radio"/>	4. 終発が遅くなる <input type="radio"/>
	5. 運行情報がわかりやすくなる <input type="radio"/>	6. 時刻表どおりにバスがくる <input type="radio"/>	7. 目的地に時刻表通りに着く <input type="radio"/>	8. 運賃が安くなる <input type="radio"/>
	9. わからない乗らない <input type="radio"/>	10.今のままでよい改善されても利用頻度は変わらない <input type="radio"/>		
タクシー	1. 待ち時間が減る <input type="radio"/>	2. 運賃が安くなる <input type="radio"/>	3. わからない乗らない <input type="radio"/>	4.今のままでよい改善されても利用頻度は変わらない <input type="radio"/>
その他	1. 駅周辺の駐車場の数が増加（駐車して鉄道等に乗る） <input type="radio"/>	2. 駅周辺の駐輪場の数が増加（自転車を停めて鉄道等に乗る） <input type="radio"/>	3. 利用方法（バス停の場所・時刻表等）がわかりやすくなる <input type="radio"/>	4. 各交通機関の間の乗継が楽になる <input type="radio"/>
	5. バス停や駅までの移動が楽になる <input type="radio"/>	6. わからない <input type="radio"/>	7.今のままでよい改善されても利用頻度は変わらない <input type="radio"/>	
自由記述				

**問23** 市内の道路を利用するにあたり、改善してほしいところはどこですか。改善してほしいところのうち、上位**3つまで**をマークしてください。（複数回答可・3つまで）

道路	1. 広い道路（幹線道路）が新たに整備される <input type="radio"/>	2. 狭い道路（生活道路）が拡張される <input type="radio"/>	3. 渋滞が減る <input type="radio"/>	4. 道路の安全対策（ガードレール等）が進む <input type="radio"/>
	5. 歩道の段差・勾配が改善され歩きやすくなる <input type="radio"/>	6. 防災に役立つ道路（避難路など）が整備される <input type="radio"/>	7. 騒音・振動・排気ガス対策がなされる <input type="radio"/>	8. 街路樹の整備など景観への配慮がされる <input type="radio"/>
	9. 自転車で通行しやすい道路が増える <input type="radio"/>	10. 道路がこまめに修繕される <input type="radio"/>	11. 電柱がなくなり、電線が地下に埋められる <input type="radio"/>	12. わからない <input type="radio"/>
自由記述 <div style="background-color: #cccccc; height: 60px; width: 100%;"></div>				

**Ⅷ. 日常の外出についてお聞きします。**

**問24** 日常生活において、外出を制約されずに、「したい」と思う外出ができていますか。最もあてはまるもの**1つ**をマークしてください。また、「3. あまりできていない」、「4. できていない」と回答された方は、その理由について最もあてはまるもの**1つ**をマークしてください。

1. できている <input type="radio"/>	2. おおむねできている <input type="radio"/>	3. あまりできていない <input type="radio"/>	4. できていない <input type="radio"/>
-----------------------------------	---------------------------------------	---------------------------------------	------------------------------------

↓  
**【「3. あまりできていない」「4. できていない」と回答した理由】**

1. 外出する時間の余裕がない <input type="radio"/>	2. 公共交通が利用しづらい（バス停が遠い、本数が少ないなど） <input type="radio"/>	3. 移動にお金がかかる <input type="radio"/>	4. 外出先でお金がかかる <input type="radio"/>
5. ご自身の身体的理由（病気・高齢など） <input type="radio"/>	6. その他（ <input type="text"/> ） <input type="radio"/>		

**Ⅸ. 【60歳以上の方のみ】運転免許返納のお考えについてお聞きします。**

**問25** 運転免許の返納に対するお考えについて、**1つ**マークしてください。

1. 運転免許はもっていない <input type="radio"/>	2. すでに返納済み <input type="radio"/>	3. 近々（2年以内に）返納予定・返納を検討中 <input type="radio"/>	4. 将来的には返納予定 <input type="radio"/>
5. 公共交通の充実が条件で将来的には返納 <input type="radio"/>	6. 不明・未定 <input type="radio"/>	7. 自主返納する気はない <input type="radio"/>	



X. 回答されたご本人についてお聞きします。 ※回答内容は集計以外には使用しません。

<b>性別</b> 1つにマーク	男性 ○	女性 ○		
<b>居住地</b> (町名または字名を記入。 番地は不要)	藤沢市 [ ] [ ] 丁目 (例 ① 長後 [ ] 丁目、② 本町 2 [ ] 丁目)			
<b>年齢</b> 1つにマーク	15歳～19歳 ○	20歳～29歳 ○	30歳～39歳 ○	40歳～49歳 ○
	50歳～59歳 ○	60歳～64歳 ○	65歳～69歳 ○	70歳～74歳 ○
	75歳～79歳 ○	80歳～84歳 ○	85歳～89歳 ○	90歳以上 ○
<b>職業</b> 1つにマーク (複数ある場合は主となる 方にマークしてください)	会社員・公務員・団体職員 ○	自営業 ○	パート・アルバイト ○	家事専業 ○
	農林漁業 ○	中学生 ○	高校生 ○	短大・大学・専門学生 ○
	予備校生 ○	無職 ○	その他 ( [ ] ) ○	
<b>世帯構成</b> 該当するものすべてにマーク	一人暮らし ○	配偶者と同居 ○	子どもと同居 ○	親と同居 ○
	孫と同居 ○	兄弟と同居 ○	その他 ( [ ] ) ○	
<b>自由に利用できる 自動車等</b> 該当するものすべてにマーク	自動車 (自己所有・家族所有) ○	バイク・原付 (自己所有・家族所有) ○	電動自転車 (自己所有・家族所有) ○	自転車(非電動) (自己所有・家族所有) ○
<b>日常の外出頻度</b> 1つにマーク	週5日以上 ○	週3～4日 ○	週1～2日 ○	月2～3日 ○
	月1日程度 ○	月1日未満 ○		

最後に、藤沢市の交通施策について、ご意見がございましたらご自由にご記入ください。

アンケート調査は以上です。ご協力ありがとうございました。

ご記入後は同封の返信用封筒(切手不要・お名前、ご住所のご記入不要)に入れ、2月5日(金曜日)までに郵便ポストに投函してください。

## 9 (参考) 市民意識調査の結果

### 9.1 調査規模

調査規模は、調査対象の母集団 377,673 人から、信頼水準 95%、標本誤差 3%という条件で、必要標本数を 1,065 人と算出した。

また、発送必要部数は、回収率を 30%と想定し、3,550 人とした。

その結果、有効回収部数は、1,690 人となり、最低必要数の目標を大きく超えることができた。

性別、年齢別、交通マスタープランの地区別で統計値の比較を行ったが、バランスよく回収することができた。

表 8 配布回収部数

① 配布部数	② 有効回収部数	③ 目標回収部数	④ 有効回収率 (②/①)	⑤ 目標達成率 (②/③)
3,550	1,690	1,065	47.6%	158.7%

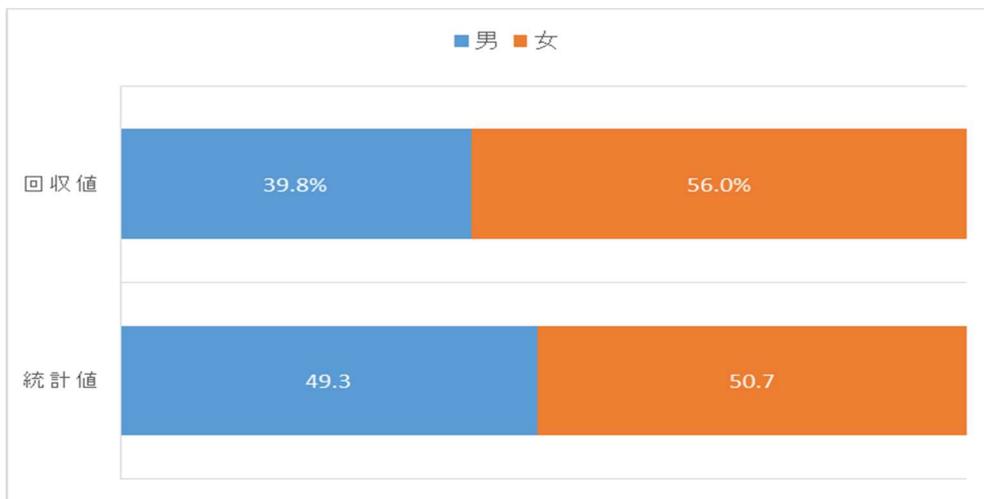


図 10 性別回収状況比較

注) 「統計値」は令和元年 12 月 1 日現在の住民基本台帳を基準とした数字

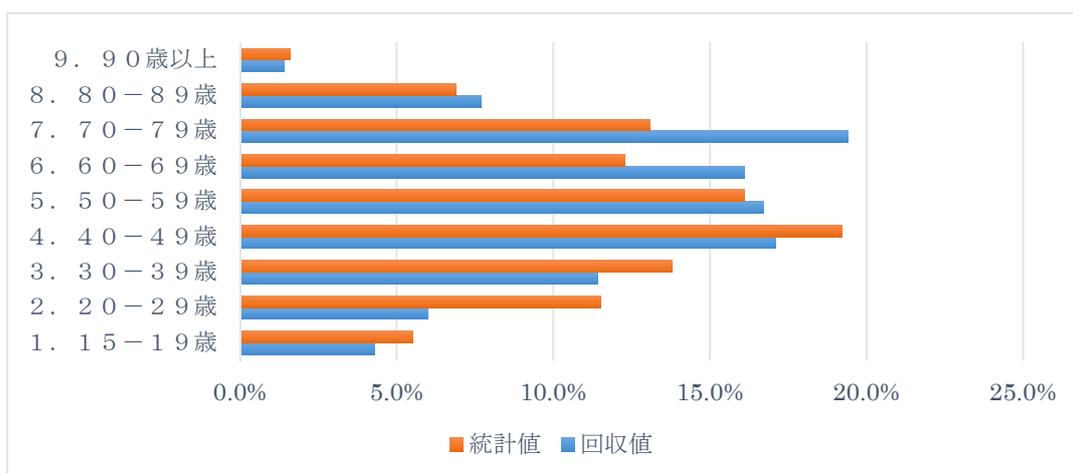


図 11 年齢別回収状況比較

注) 「統計値」は令和元年12月1日現在の住民基本台帳を基準とした数字

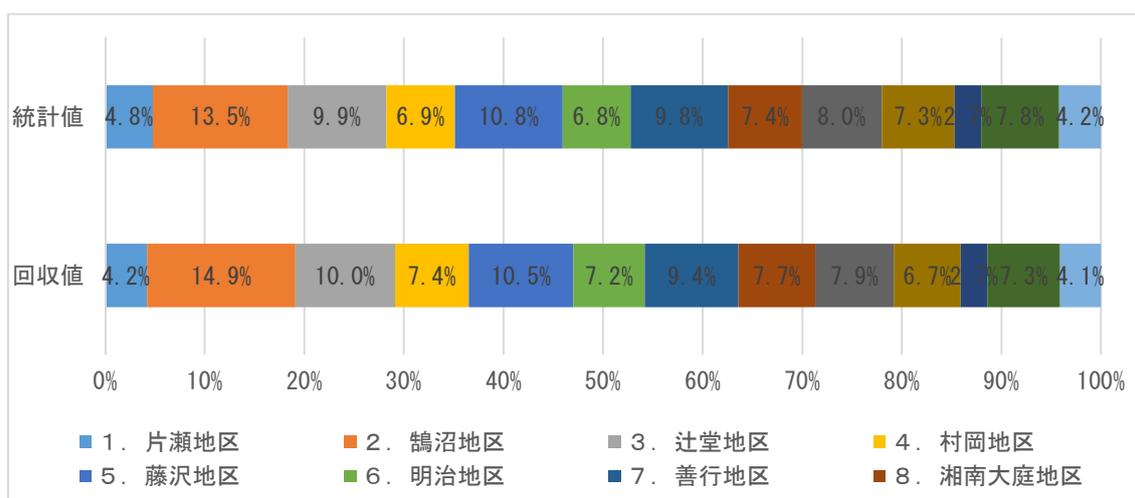


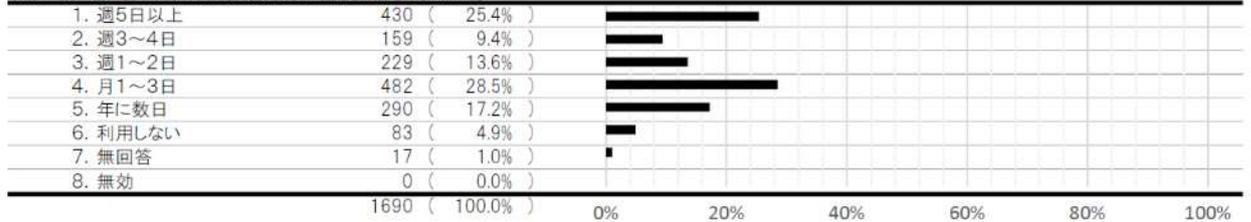
図 12 都市マス13地区別回収状況比較

注) 「統計値」は令和元年12月1日現在の住民基本台帳を基準とした数字

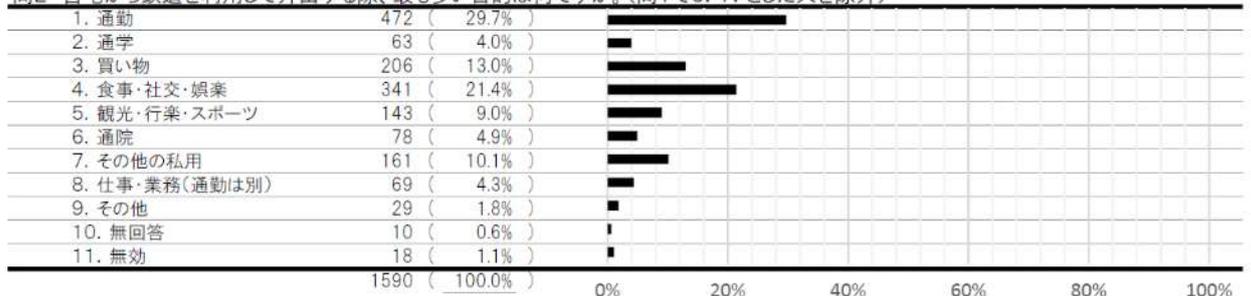
## 9.2 調査結果（単純集計）

### I. 鉄道の利用についてお聞きます。

問1 自宅からの外出で鉄道をどの程度利用しますか。



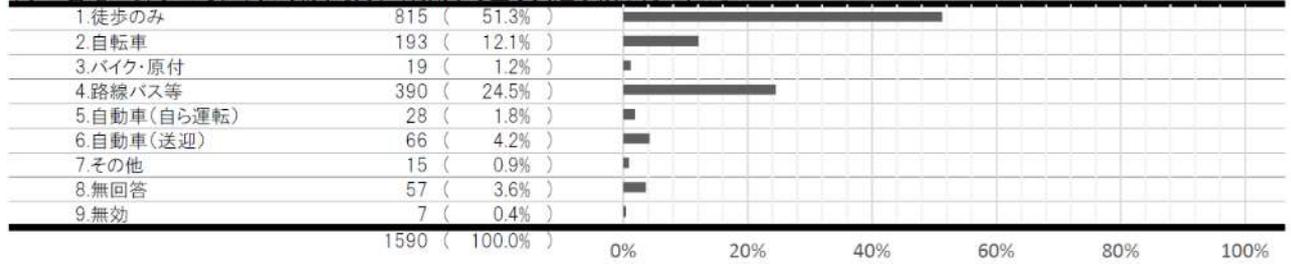
問2 自宅から鉄道を利用して外出する際、最も多い目的は何ですか。（問1で6、7. とした人を除外）



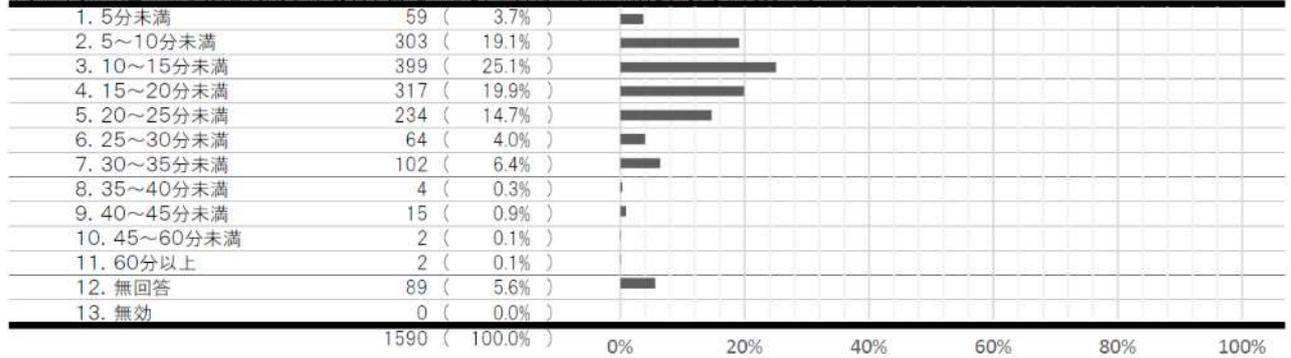
問3 問2の目的で最初に乗車する駅はどこですか。



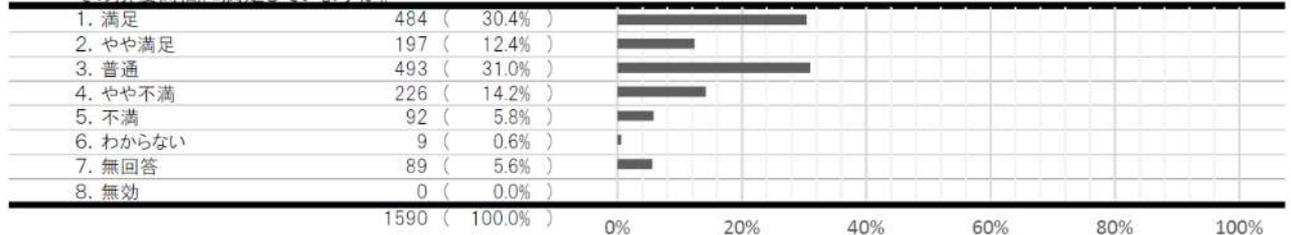
問4 自宅から問3の駅に向かう際、最もよく利用する主な交通手段は何ですか。



問5 問4で選んだ手段を利用する場合、自宅から駅の改札口までの所要時間は何分ですか。

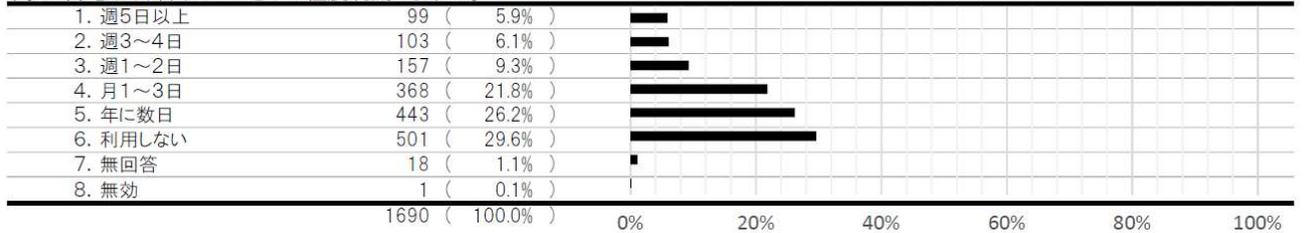


その所要時間に満足していますか。

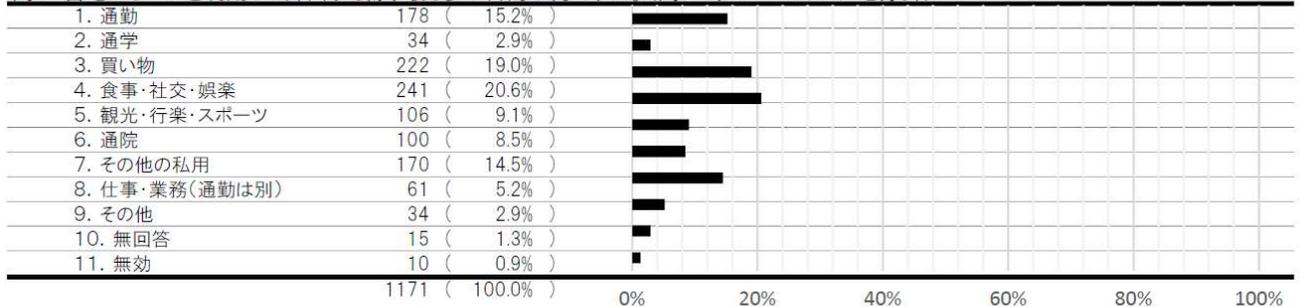


## Ⅱ.バス(路線バス・高速バス・乗合タクシー)の利用についてお聞きます。

問6 自宅から外出でバスをどの程度利用しますか。

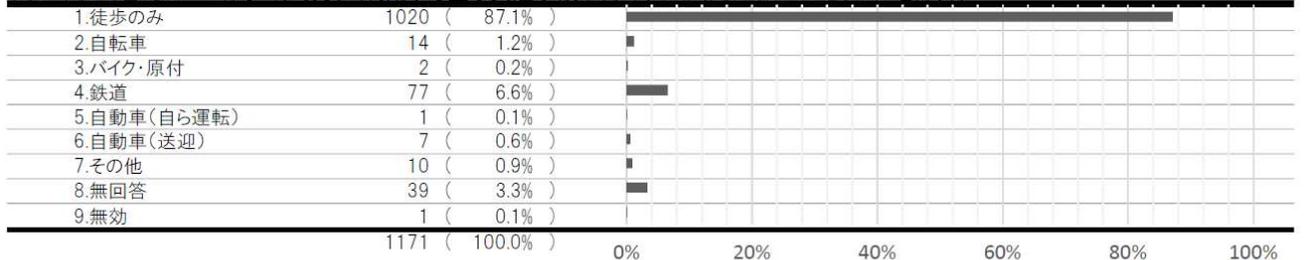


問7 自宅からバスを利用して外出する際、最も多い目的は何ですか。(問6で、6. 7. とした人を除外)

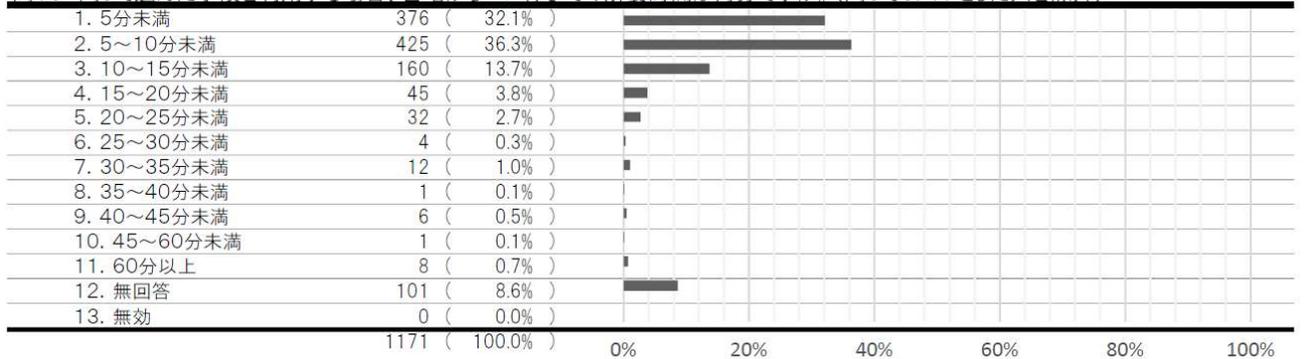


問8 問7の目的で、最初に乗車するバス停はどこですか。(省略)

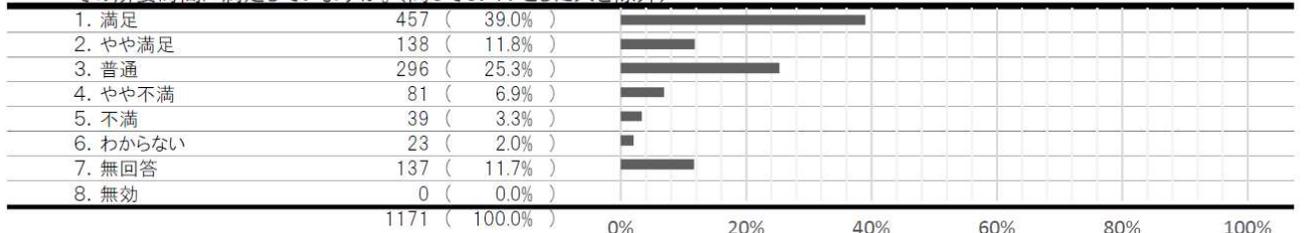
問9 問8で答えたバス停まで、最もよく利用する主な交通手段は何ですか。(問6で6. 7. とした人を除外)



問10 問9で選んだ手段を利用する場合、自宅からバス停までの所要時間は何分ですか。(問6で6. 7. とした人を除外)

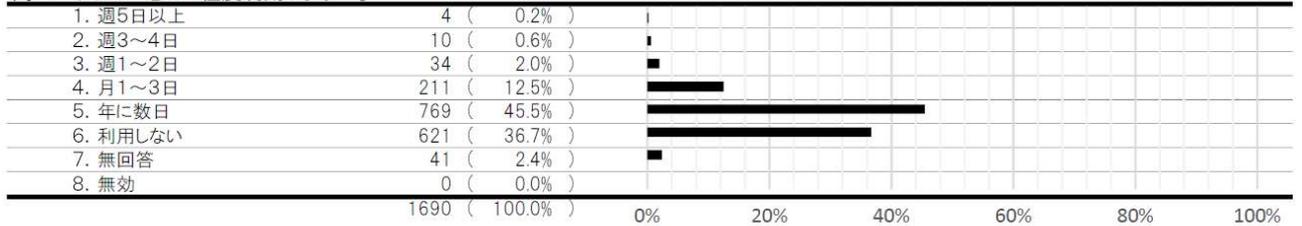


その所要時間に満足していますか。(問6で6. 7. とした人を除外)

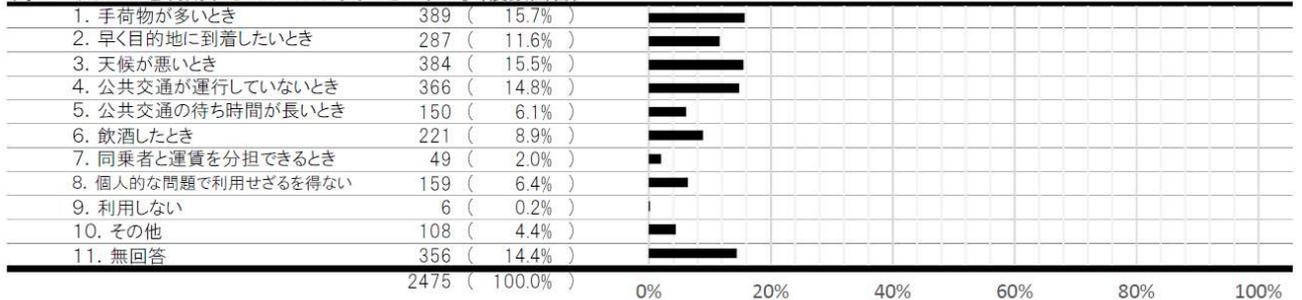


### Ⅲ. タクシーの利用についてお聞きします。

問11 タクシーをどの程度利用しますか。

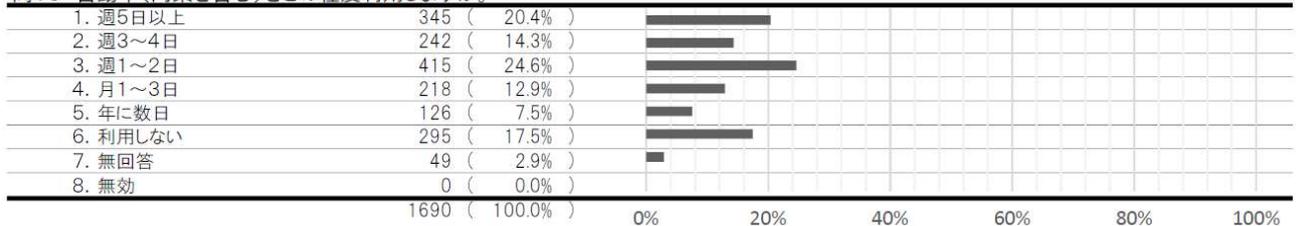


問12 タクシーを利用するのはどのようなときですか。(複数回答)

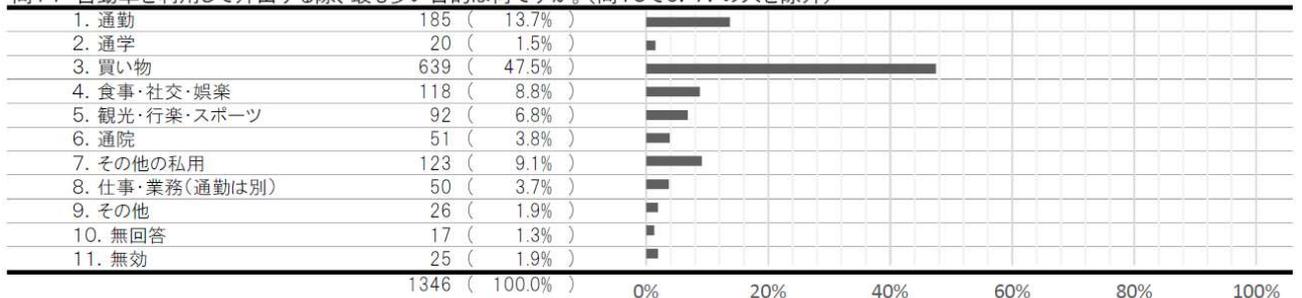


### Ⅳ. 自動車(じどうしゃ)の利用についてお聞きします。

問13 自動車(同乗を含む)をどの程度利用しますか。

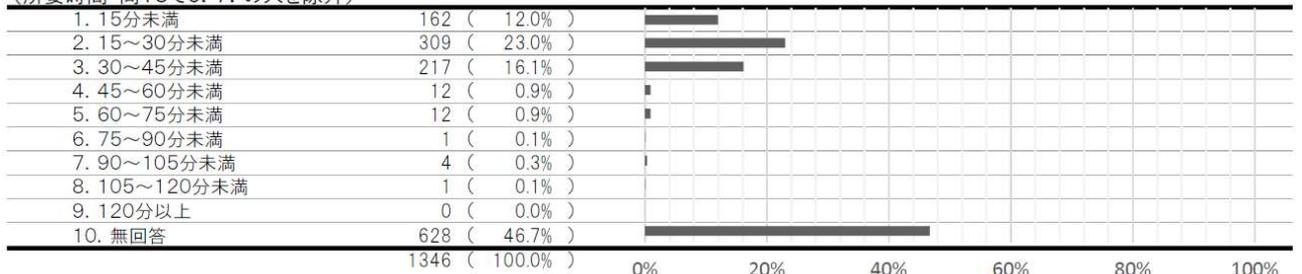


問14 自動車を利用して外出する際、最も多い目的は何ですか。(問13で6. 7. の人を除外)

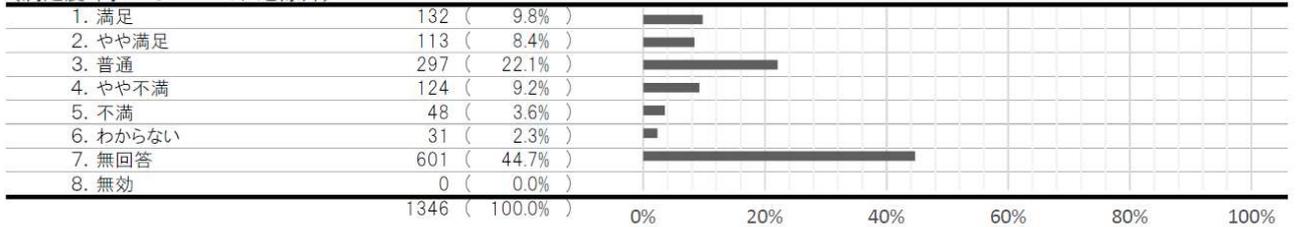


問15 自宅から自動車で高速道路等を利用する際、最初に入る、よく利用するインターチェンジはどこですか。(省略)

問16 問15で選んだインターチェンジまでの所要時間は何分ですか。おおよその時間(分)を記入してください。また、その所要時間に満足 していません(所要時間・問13で6. 7. の人を除外)

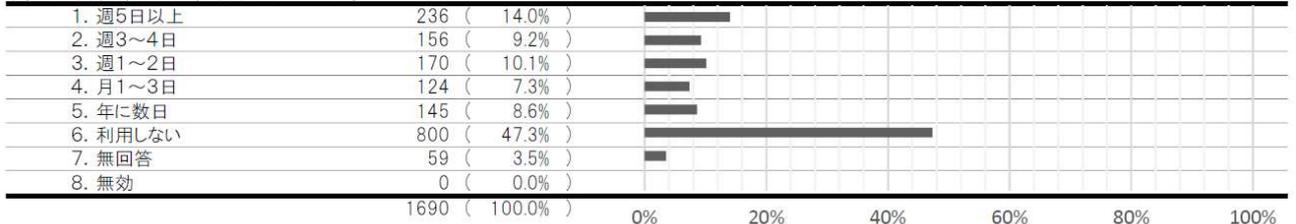


(満足度・問13で6. 7. の人を除外)

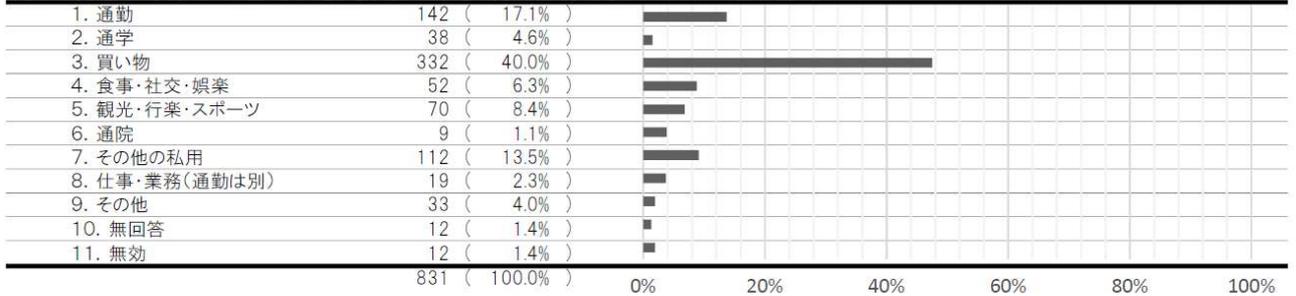


## V. 自転車(じてんしゃ)の利用についてお聞きます。

問17 自転車をどの程度利用しますか。



問18 自宅から自転車で外出する際、最も多い目的は何ですか。(問17で6. 7. の人を除外)

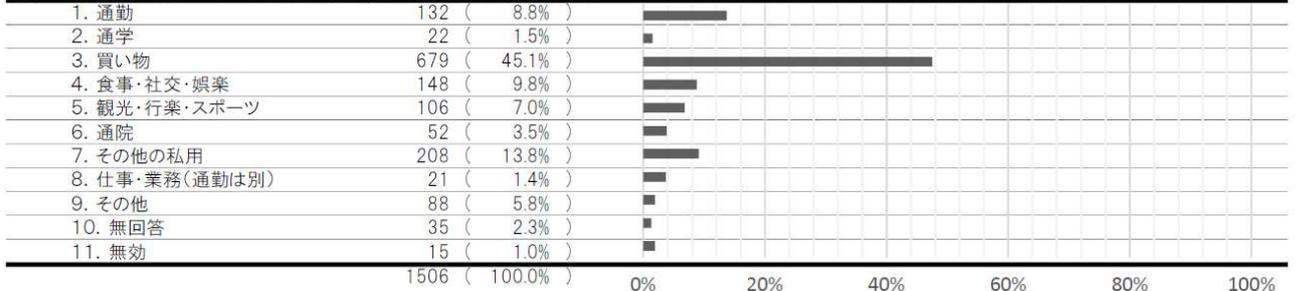


## VI. 徒歩での外出についてお聞きます。

問19 自宅から徒歩だけで外出する頻度はどの程度ですか。



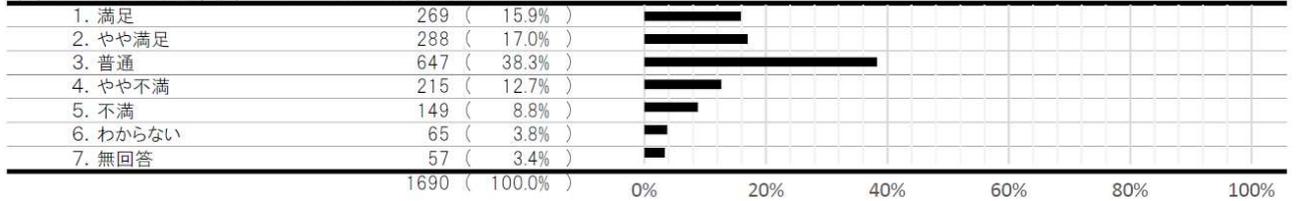
問20 自宅から徒歩だけで外出する際、最も多い目的は何ですか。



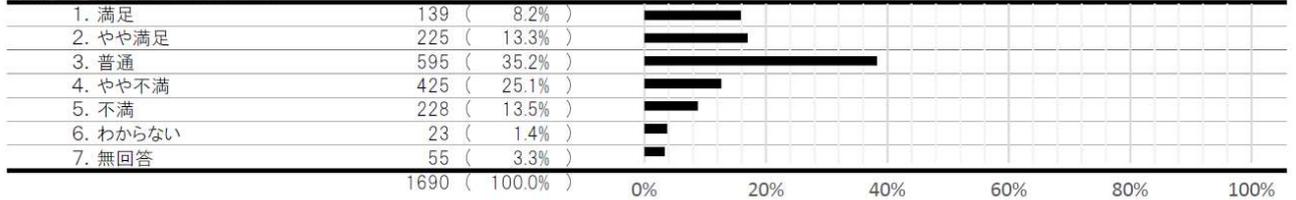
## VII.市内の交通についての評価をお聞きます。

問21 市内の交通の利用について、各項目の満足度を1つマークしてください。

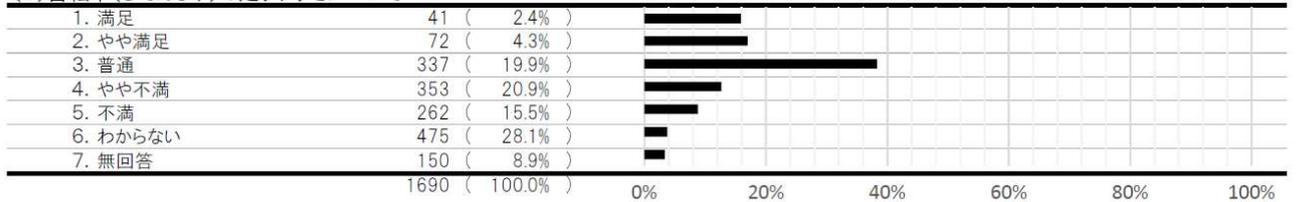
### (1)市内の公共交通(電車・バス・タクシーなど)の利用について



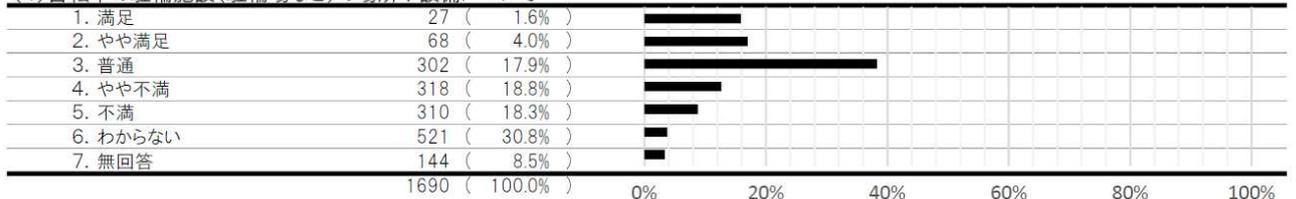
### (2)歩道の歩きやすさについて



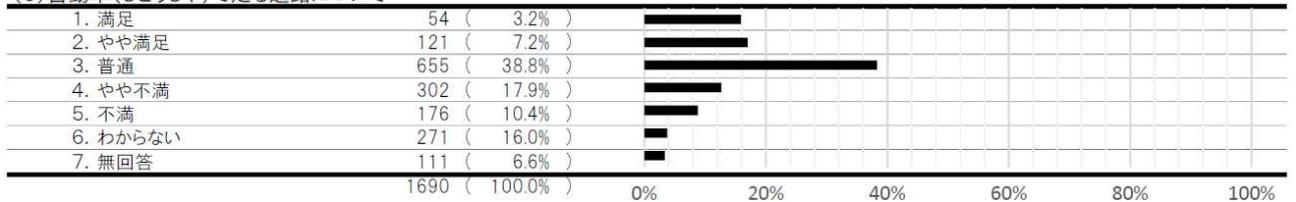
### (3)自転車(じてんしゃ)の走りやすさについて



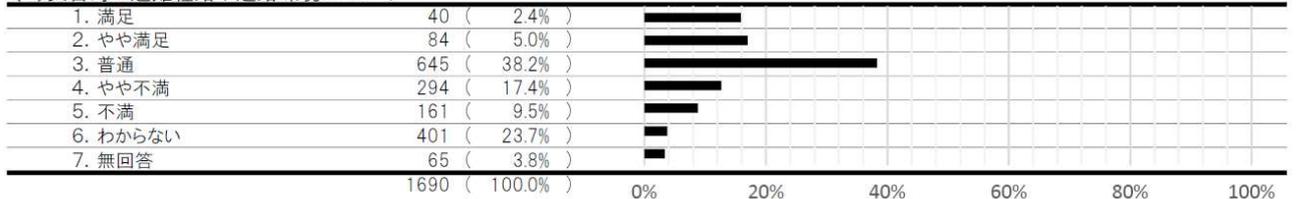
### (4)自転車の駐輪施設(駐輪場など)の場所や設備について



### (5)自動車(じどうしゃ)で走る道路について

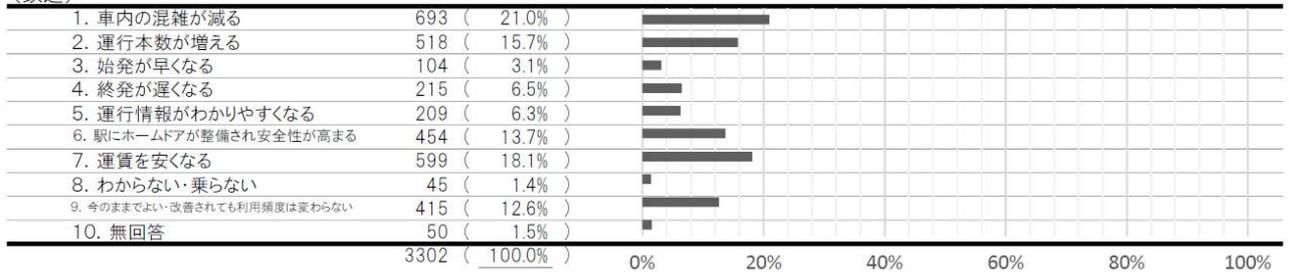


### (6)災害時の避難経路や道路環境について

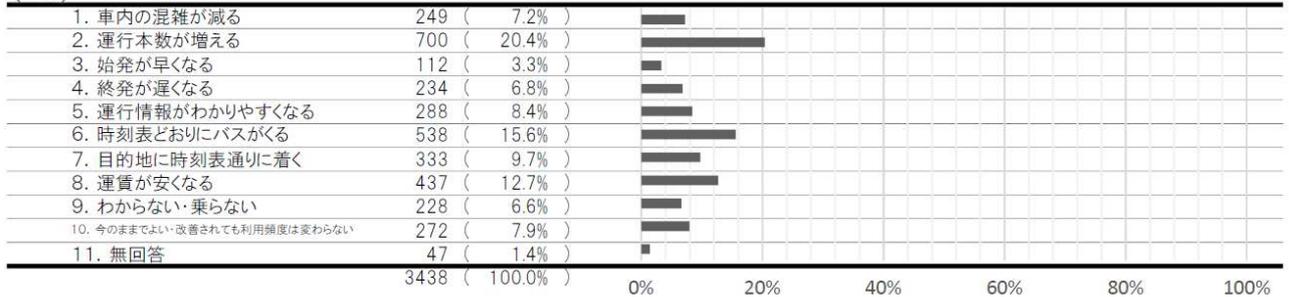


問22 市内の公共交通について、改善されたら今より公共交通(電車・路線バス・タクシーなど)を利用すると思うところはどこですか。鉄道・路線バス・タクシーその他のそれぞれについて、あてはまるものすべてにマークしてください。(複数回答)

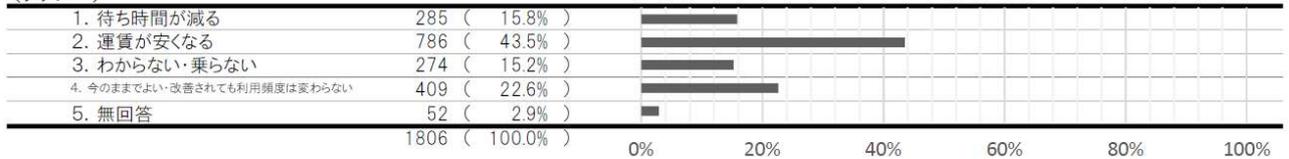
(鉄道)



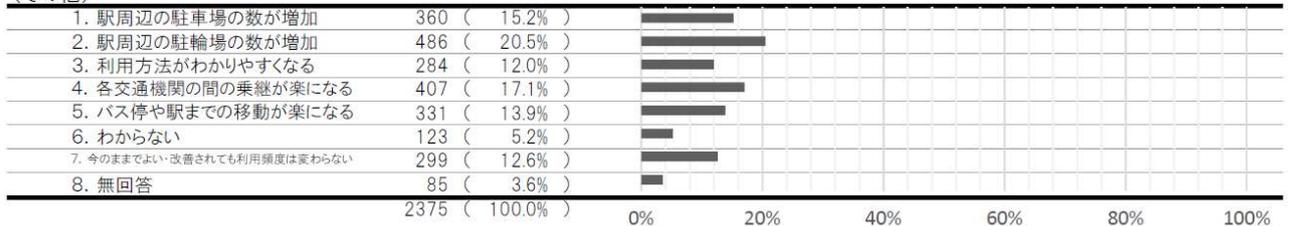
(バス)



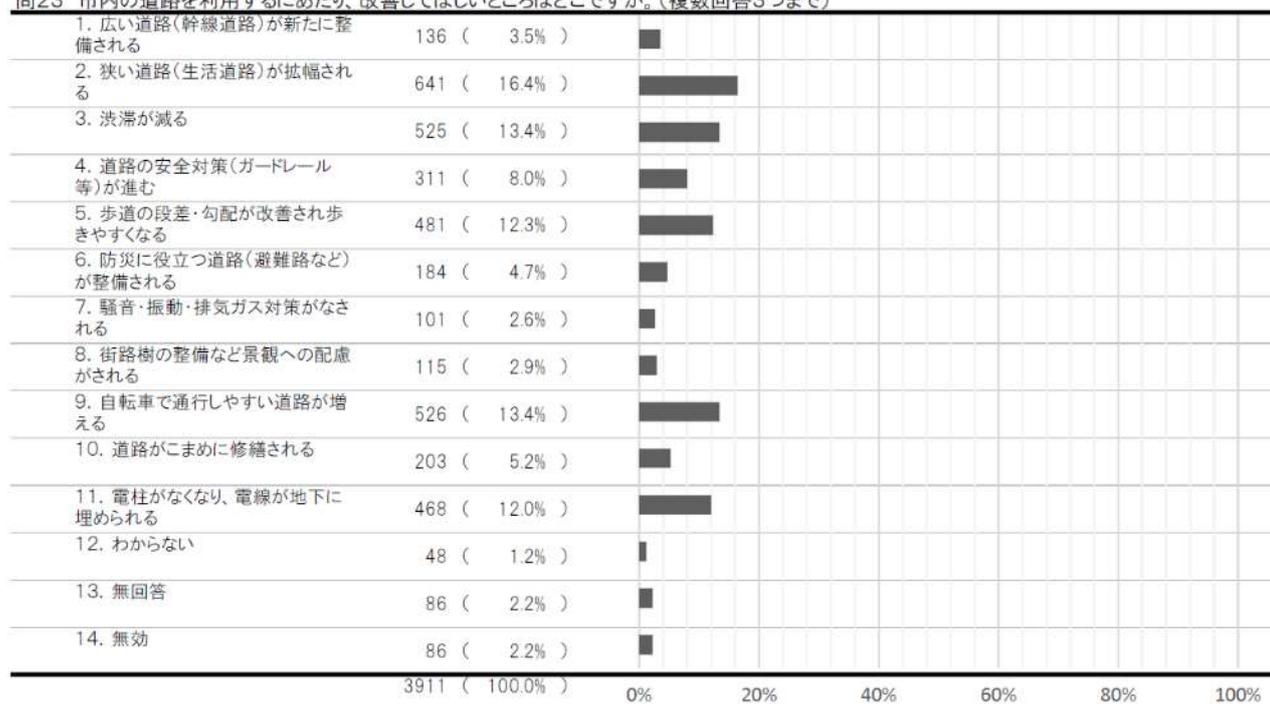
(タクシー)



(その他)

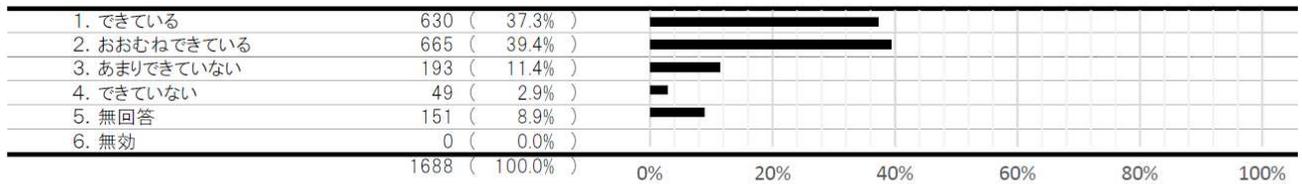


問23 市内の道路を利用するにあたり、改善してほしいところはどこですか。(複数回答3つまで)



## VIII. 日常の外出についてお聞きます。

問24 日常生活において、外出を制約されずに、「したい」と思う外出ができていますか。(最もあてはまるもの1つ)

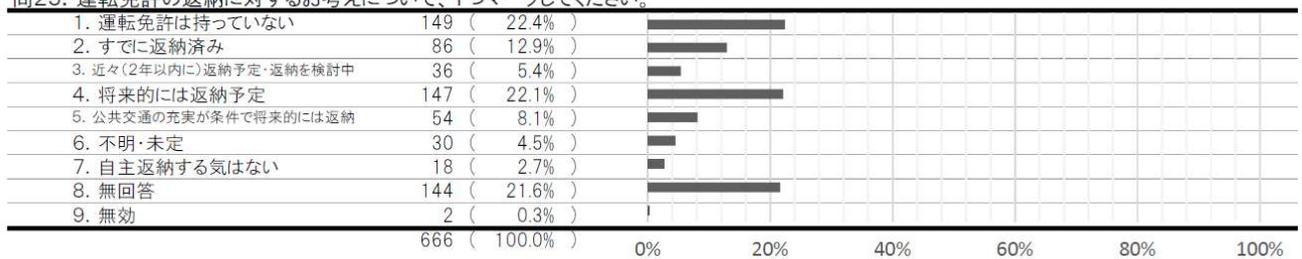


「3. あまりできていない」、「4. できていない」と回答された方はその理由について最もあてはまるもの1つにマークしてください。

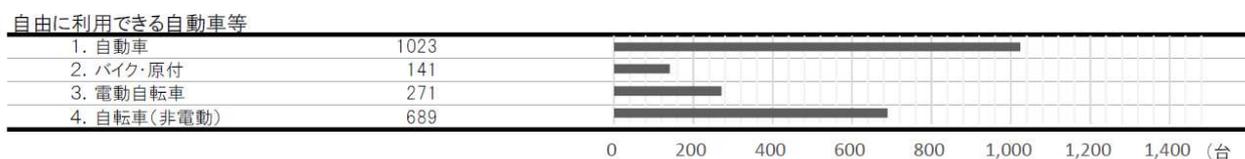
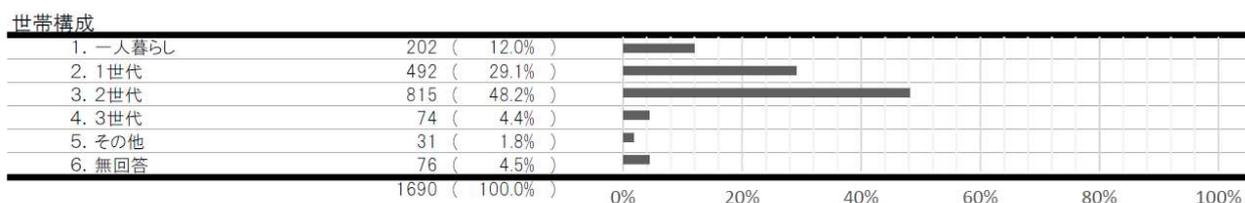
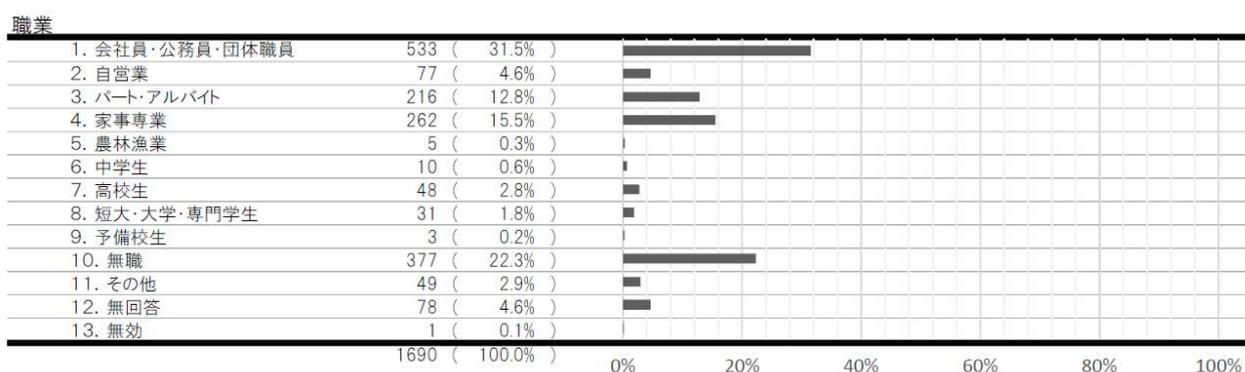
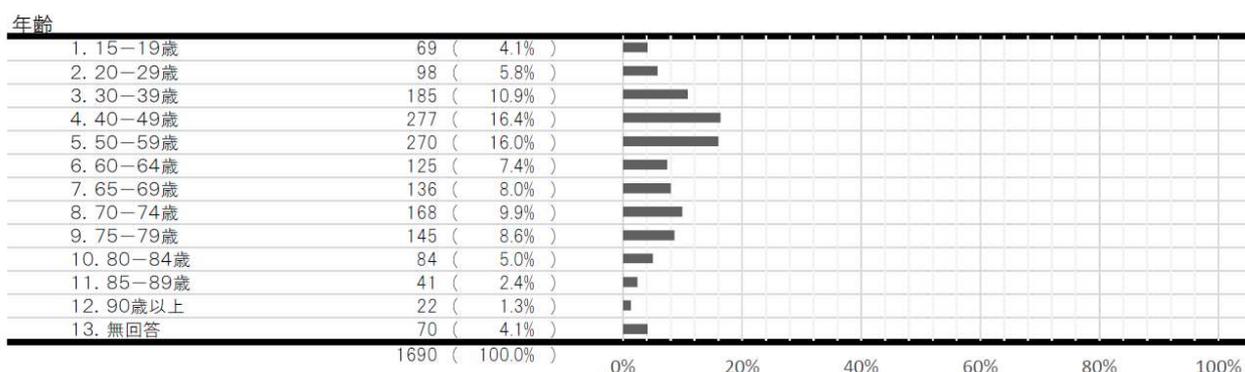
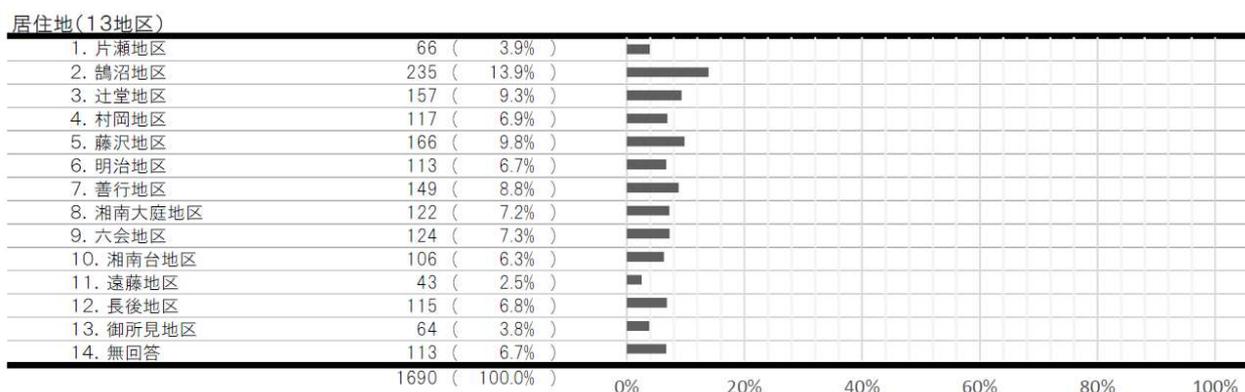


## IX. 【60歳以上の方のみ】運転免許返納のお考えについてお聞きます。

問25. 運転免許の返納に対するお考えについて、1つマークしてください。



## X. 回答されたご本人についてお聞きます。



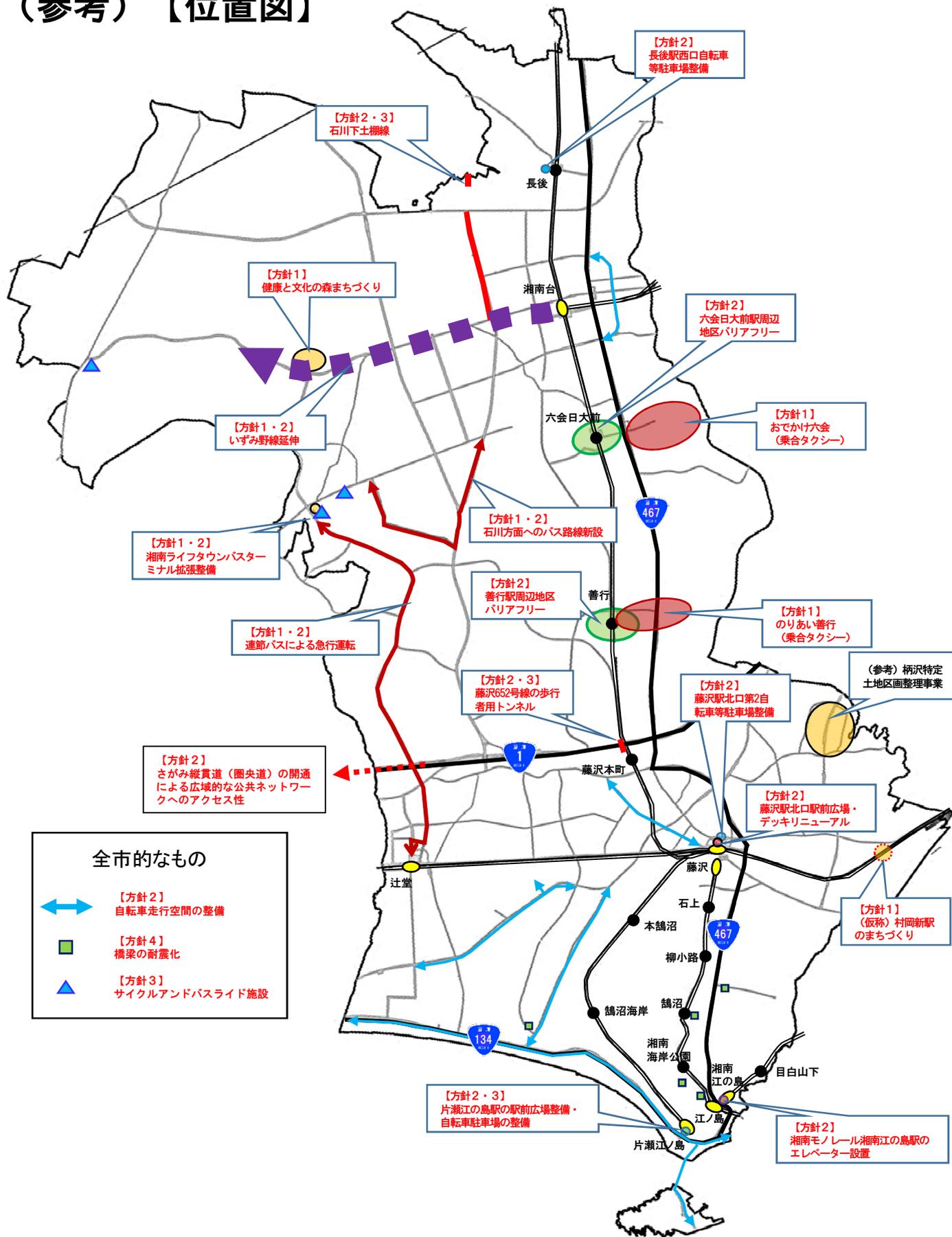
## **藤沢市交通アクションプラン 中間評価**

計画建築部 都市計画課

〒251-8601 神奈川県藤沢市朝日町 1 番地の 1

電話 0466-50-3537

# (参考) 【位置図】



# (参考) 【藤沢市内13地区】

